



あなたと あたらしい あしたへ — 京王グループ

# 安全・社会・環境報告書 2014 CSRレポート



## 編集方針

本報告書は、多角的な事業を展開する京王グループの活動を安全・社会・環境面から捉え、どのような考えを持って取り組んでいるかを、分かりやすくお伝えするものです。

当社の最大の使命である安全への取り組みをはじめとして、京王グループ理念にある「つながりあうすべての人」を念頭に置き、各ステークホルダーとの取り組みが伝わることに留意しました。

より詳しく、視覚的、タイムリーにお伝えするため、京王ホームページ、京王ニュース、環境・CSRポスター、インベスターズガイドなどでも適切な情報発信に努めています。あわせてご覧ください。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4により公表が義務付けられた「安全報告書」を兼ねているほか、皆様とのコミュニケーションを深めるための重要なツールと位置付けています。

### 【報告範囲・報告期間】

- 本報告書は、京王電鉄単体(鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門)の2013年度(2013年4月1日～2014年3月31日)の報告です。当該年度以外の事例や京王グループの事例も一部掲載しています。
- 環境負荷データおよび環境会計データは、京王電鉄単体の2011年度～2013年度のデータです。

### 【参考にした報告ガイドライン】

- 鉄軌道事業者による安全報告書の作成手引き(国土交通省)
- 環境報告ガイドライン(2012年版、環境省)

## ●京王グループのCSRに関する情報は、以下の媒体で公表しています

### 安全・社会・環境報告書

安全への取り組みをはじめ、社会貢献、環境保全活動まで、1年間の取り組みを、幅広いステークホルダーの皆様へご報告しています。



### インベスターズガイド

株主・投資家の皆様へ、財務情報から、CSR情報まで、年2回定期的に報告しています。



### 環境・CSRポスター

「京王クリーンキャンペーン」など、お客様参加の環境・CSRの活動報告として、駅構内に掲示しています。



### 京王ニュース

沿線に関わるお役立ち情報や社会貢献イベントなどを掲載し、新聞折込や駅構内などで配布しています。



### 京王ホームページ

お客様から、投資家、専門家の方まで、幅広いステークホルダーとのコミュニケーションサイトです。





編集方針	02
目次	03
トップメッセージ	04

## 安全報告

輸送の安全性向上に向けて、運輸安全マネジメントを推進 ／輸送の安全確保に関する基本方針	06
安全統括管理者メッセージ	07
安全管理体制	08
安全管理方法	09
安全重点施策	10
2013年度 輸送安全の実態	11
教育の取り組み	13
設備の取り組み	16
お客様との連携	24
お客様へのお願い・お客様の声	25
グループ会社の安全対策	26

## 社会性報告

特集：沿線活性化の取り組みを進めています	28
お客様の利便性・快適性の向上	30
お客様との対話	37
地域社会への貢献	38
行政・協力会社との連携	43
株主・投資家の皆様との対話	44
人材の活用と働きやすい職場づくり	45

## 環境報告

特集：鉄道ではより効果の高い環境施策を進めています	50
環境方針	52
低炭素社会を目指して	54
循環型社会を目指して	58
自然共生社会を目指して	60
環境マネジメント	64

コーポレート・ガバナンス体制	70
京王電鉄の概要	74
第三者意見	75

# 安全風土の醸成、沿線価値の向上、 環境保全の推進を通じて 「信頼のトップブランド」の確立を目指します。



京王電鉄株式会社 代表取締役社長

永田 正

## 鉄道事業の社会的使命である「輸送の安全」のための取り組みを、ソフト・ハードの両面から推進します。

当社をはじめ京王グループのすべての運輸事業者は「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである。」との方針のもと、事業を展開しています。

鉄道事業では、安全最優先の鉄道をつくることを目指します。不安全行動による事故をなくすため、一昨年に改正した「安全に関する基本方針」と「安全に係る社員の行動規範」の浸透により、社員一人ひとりの意識の向上を図り安全風土の醸成に取り組んでいます。

一方、ハード面では、京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業について、踏切25カ所の解消に向けて、事業主体である東京都とともに用地取得業務や設計業務などを推進します。調布駅付近連続立体交差事業は本年度に完了します。また、京王線多摩川橋梁の耐震補強完了に引き続き、高架橋柱やずい道(トンネル)、盛土区

間を対象とした耐震補強工事などを鋭意進めて、安全対策の強化に取り組んでいきます。



2014年7月 社長巡視

## 「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を 追い求め続けます。

京王グループでは、沿線が将来にわたり活力を維持できるサイクルを作り上げるため、多世代にとって暮

らしやすい街づくりを積極的に進めています。

京王自動車は、妊娠・育児期間中に安全・快適に目的地までお送りする「はぴママサポートタクシー」を昨年9月から運行しています。東京都認証保育所「京王キッズプラッツ」は、待機児童解消に向け、京王沿線7カ所でお子様をお預かりできる体制を整えました。「京王ほっとネットワーク」では、昨年11月に新しいサービス「移動販売」を多摩ニュータウンエリアで開始し、日常のお買い物に不便がある方を支援するとともに、地域コミュニティの活性化を図ってまいります。

京王グループでは今後も、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」づくりに取り組んでいきます。

昨年4月、京王の電車・バスは開業100周年を迎え、さまざまな記念施策を実施しました。それらの施策を通じ、沿線の皆様とともに素晴らしい100周年を迎えることができました。ありがとうございました。なかでも、昨年12月に開催した京王アニバーサリー駅伝は、皆様から継続実施を希望する多くの声をいただき、今年11月に再び駅伝大会を実施することといたしました。今回も大勢の方々にお楽しみいただけるようイベントを企画しておりますので、ぜひふるってご参加ください。



2013年12月 京王アニバーサリー駅伝

## 持続的発展が可能な社会を目指して 環境マネジメントを推進します。

当社は本年6月、国土交通省関東運輸局長から、環境保全に積極的に取り組み、顕著な功績のあった事業者等に贈られる「交通関係環境保全優良事業者等表彰」

を受賞いたしました。これは当社が、省エネルギー車両や設備の導入による地球温暖化防止、廃棄物削減と資源の有効活用の推進、自然との共生活動による環境保全に積極的に取り組んでいることが評価されたことによるものです。

当社では、「回生ブレーキ」に加え、2012年度に大手民鉄では初めて「VVVFインバータ制御装置」を搭載した省エネルギー車両の導入率100%を達成したほか、太陽光発電設備など環境に配慮した現業施設の開設、各駅で回収された使用済み切符をトイレトペーパーにリサイクルするなど、日頃から積極的に環境保全に配慮しながら事業活動を行っています。

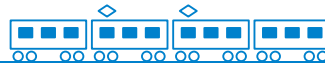
今年度には、堀之内変電所に回生電力貯蔵装置を導入するなど、より環境にやさしい鉄道を目指して邁進いたします。

また、本年5月には、京王沿線の武蔵野の面影を残す風景や、自然と調和した景観を活かした里地里山の素晴らしさに触れていただくため「京王沿線の里地里山を歩こう」という冊子を発行しました。自然環境の大切さを改めて認識し、より一層の沿線での環境保全活動に努めていきます。

京王グループは、企業としての社会的責任を果たすとともに、グループ経営理念である「信頼のトップブランド」の確立を目指して、これからも地域と一体となって将来にわたり発展、成長していける企業となるよう努力していきますので、皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2014年6月「交通関係環境保全優良事業者等表彰」授賞式



## 安全 報告

# 輸送の安全性向上に向けて、 運輸安全マネジメントを推進

## 輸送の安全確保に関する基本方針

### 安全に関する基本方針

- 「安全」は最大の使命であり、最高のサービスである。
- 全社員が一丸となり継続的改善に取り組み、安全最優先の鉄道を創る。

### 安全に係る社員の行動規範

- 全てにおいてお客様の視点に立ち、安全確保を第一に行動する。
- 社員一人ひとりがルールを遵守し、判断に迷ったときは、自ら考え、最も安全と認められる行動をとる。
- 情報伝達は迅速かつ正確に行い、共有化を図る。
- 組織・職位を越えたコミュニケーションを構築し、全社員が連携して問題解決にあたる。

## 新基本方針・行動規範策定にあたって

2012年9月21日、「安全に関する基本方針」「安全に係る社員の行動規範」改定にあたり、社長から全社員に向けてメッセージを発信しました。

『私たちの仕事』はお客様の大切な命を預かり、沿線の暮らしを支え、その信頼に応えていくことを背負っている。故に、「私たちの使命」はお客様を無事に、正確に、そして快適にお運びすることであり、「私たちに与えられた命題」は安全の確保が全てにおいて最優先されるという基軸を常に持って、安全を現場力の発揮と全社一丸の支持により、日々創り上げていくことである。

そして、この事業の重みを誇りとし、より高い安全文化を全員で構築していくことである。

取締役社長

永田 正

## 安全統括管理者メッセージ

### さらなる安全性の向上を目指して日々改善を積み重ねてまいります



常務取締役  
鉄道事業本部長(安全統括管理者)  
高橋 泰三

日頃から京王線、井の頭線をご利用いただきまして、ありがとうございます。

当社では、京王グループの経営理念である『信頼のトップブランド』の確立を目指し「住んでもらえる、選んでもらえる沿線づくり」を進めております。特に鉄道事業においては、皆様から信頼され、愛される鉄道になるため、「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」ことを常に意識し、「全社員が一丸となり継続的改善に取り組み、安全最優先の鉄道を創る」ことを最大のテーマとして取り組んでいます。

ハード面では、調布駅付近の連続立体交差化に引き続き、笹塚駅～仙川駅間でも連続立体交差事業に着手いたしました。25カ所の踏切解消に向け、事業主体である東京都とともに事業を推進してまいります。また、高架橋、橋梁、トンネル、盛土など構造物の耐震補強を継続して実施するとともに、京王線新宿駅でのホームドアの使用を開始するなど、安全性の向上に努めております。

今後とも、京王線、井の頭線が皆様の生活になくてはならないものであり続けるため、現状に甘んじることなく、安全性の向上を目指して日々努力してまいります。



職場巡視風景



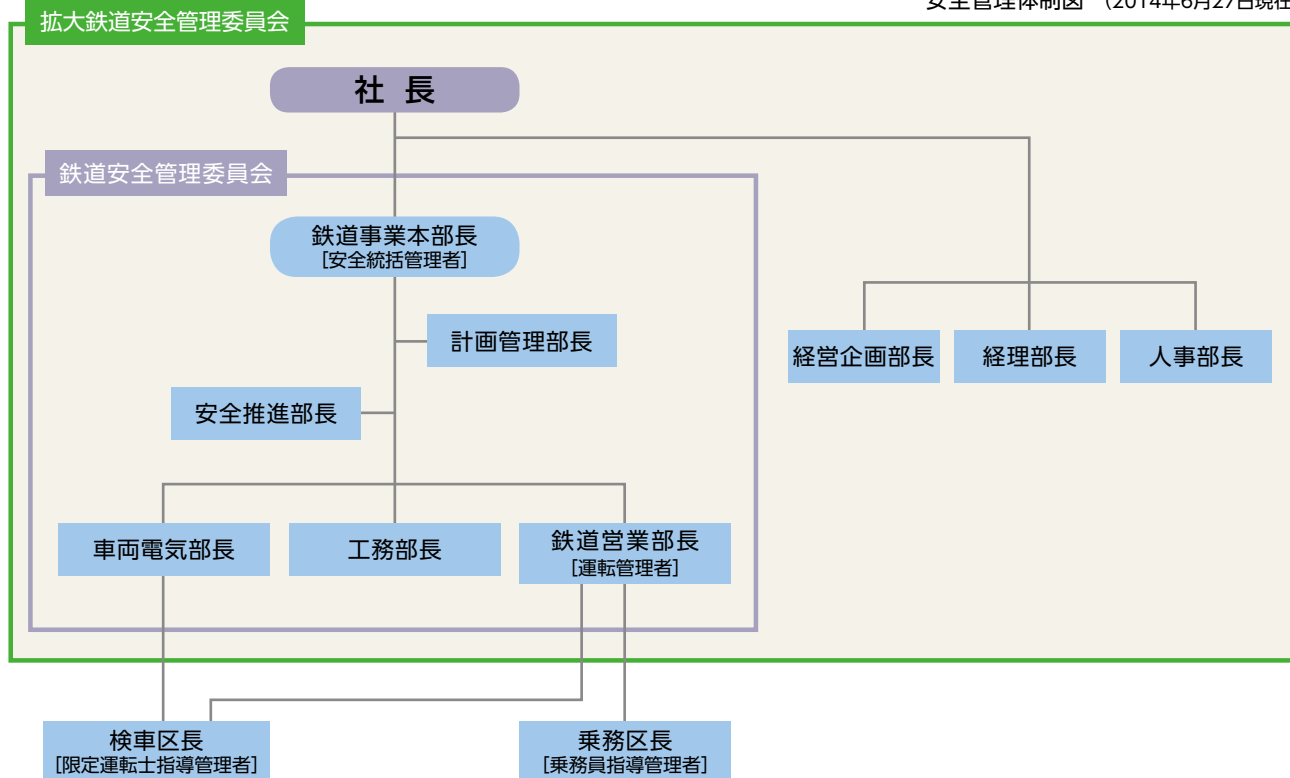


# 安全管理体制

## 安全管理体制

当社では、安全管理体制を下の図のとおり構築しています。

安全管理体制図 (2014年6月27日現在)



## 責任者名と役割

責任者名	役割
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括し、鉄道事業本部長を充てる。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括し、原則として鉄道営業部長を充てる。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理し、乗務区長を充てる。
限定運転士指導管理者	車両電気部長および運転管理者の指揮の下、限定運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
計画管理部長	輸送の安全確保に必要な設備投資に関する事項、収支に関する事項および要員に関する事項を統括する。
安全推進部長	安全統括管理者の指揮の下、輸送の安全の確保に関する体制および事故防止に関する事項を統括する。
工務部長	安全統括管理者の指揮の下、土木施設に関する事項を統括する。
車両電気部長	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項および車両に関する事項を統括する。
経営企画部長	会社全体の視点から輸送の安全確保に必要な投資に関する事項を統括する。
経理部長	会社全体の視点から輸送の安全確保に必要な収支に関する事項を統括する。
人事部長	会社全体の視点から輸送の安全確保に必要な要員に関する事項を統括する。



## 安全管理方法

### 鉄道安全管理委員会

安全統括管理者を中心に、運転管理者を含む鉄道事業本部の各部長がメンバーとなり、原則として毎月1回定期的に、また必要により臨時に開催し、事故等の原因の究明・対策の検討・検証等を行っています。

事案の解決のために必要な場合には、課長職等からなる鉄道安全管理委員会小委員会により、対策を検討し、鉄道安全管理委員会に報告します。

#### ■主な検討事項

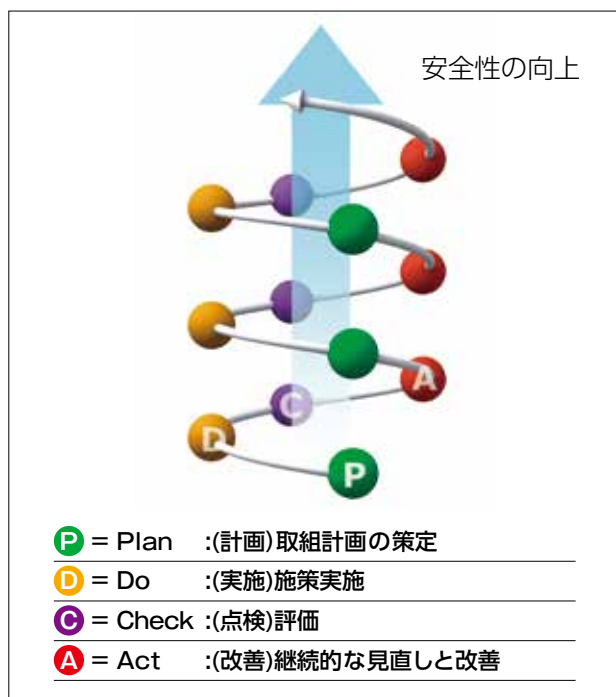
- 重大な事故発生時の再発防止策の検討
- 事故の芽情報の検討
- 内部監査の計画および結果報告
- 安全重点施策等の策定と進捗状況の確認
- 安全管理体制の維持・改善に関する事項の検討

また、拡大鉄道安全管理委員会を年に2回開催し、社長出席のもと、鉄道の安全性向上のための重点施策をはじめとした安全管理体制全般の実施状況の評価等を行っています。

### 「運輸安全マネジメント」PDCAサイクル

鉄道安全管理委員会を中心として、計画(Plan)→実施(Do)→評価(Check)→見直し・改善(Act)サイクルに沿って、安全性の向上を図っています。

#### ■継続的な見直しと改善



### 事故の芽・トラブル情報・ヒヤリハット・気づきの報告

鉄道係員による取り扱い上での支障、機器関係の故障、自然災害などに起因する異常やそれに対する措置などの報告、また、事故が発生する恐れがあった事態、事故等や労働災害に関係するヒヤリハット、さらに業務上の気づきを幅広く収集し、フィードバックすることで、安全性の向上に役立てています。

### 緊急時対応体制

鉄道運転事故や自然災害の発生に備え、社内規程類を整備し、緊急時対応体制を構築しています。重大な事故や自然災害が発生すると、これに基づき対策本部を設置して、緊急・応急・復旧対策にあたります。

### 内部監査の実施

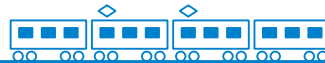
内部監査員としての講習を修了した監査員による内部監査を毎年行い、安全管理体制が適正に機能していることを確認しています。社長、安全統括管理者ならびに鉄道事業本部の部長・課長および現業の管理職に対してインタビューや書類検査などによる監査を行い、監査で見出された事項については、鉄道安全管理委員会に報告され、共有化されています。

### 経営トップによる職場巡視

年4回の安全推進運動や、毎月の「安全再確認の日」を中心に、社長をはじめとする役員が現業を巡視して安全管理の状況を確認するとともに、現業係員との意見交換会を実施してコミュニケーションを図っています。



社長による職場巡視



## 安全重点施策

「安全に関する基本方針」として定めている『「安全」は最大の使命であり、最高のサービスである』旨を浸透し、ソフトとハードの両面から、鉄道事業の根幹であり社会的使命である「輸送の安全」を確保することを目的に、毎年、安全重点施策を策定し、実施しています。

また、安全意識の一層の高揚を図るため、毎年、社内公募により、安全スローガンを設けています。

### 2013年度 安全重点施策

ソフト面	ハード面
<ul style="list-style-type: none"> <li>● リスクマネジメントの強化</li> <li>● 事故・インシデントの未然防止</li> <li>● 安全意識の高い職場づくり</li> <li>● コミュニケーションの深耕</li> <li>● ヒューマンエラー・システムエラーの原因究明と再発防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差化の事業化に向けた手続きの推進</li> <li>● 調布駅付近連続立体交差事業の2014年度事業完了</li> <li>● 耐震補強の推進</li> <li>● 減災対策の推進</li> <li>● 老朽設備の着実な更新により運転支障を未然防止</li> </ul>

### 2013年度 安全スローガン

**「安全は基本動作の積み重ね 大きな声で指差確認 一人ひとりが責任者」**

2013年度施策の実施状況や事業の進捗状況を踏まえ、安全性のさらなる向上を目指して、2014年度施策を策定し、実施しています。

### 2014年度 安全重点施策

ソフト面	ハード面
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不安全行動による事故をなくすため、安全意識の浸透</li> <li>● コミュニケーションの深耕</li> <li>● 事故の再発防止策の徹底</li> <li>● 輸送障害の発生件数の削減や、発生時の影響の軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業の推進</li> <li>● 調布駅付近連続立体交差事業の完了</li> <li>● 耐震補強の推進</li> <li>● 減災対策の推進</li> <li>● 老朽設備の着実な更新により運転支障を未然防止</li> </ul>

### 2014年度 安全スローガン

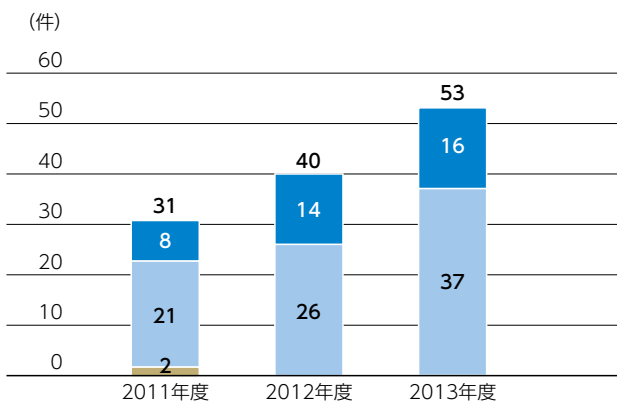
**「決められた 作業の意味を考えて 摘みとる事故の芽 創ろう安全」**

# 2013年度 輸送安全の実態

## 鉄道運転事故等の発生件数の推移(2011年度～2013年度)

2013年度は、鉄道運転事故が16件(対前年2件増)、輸送障害が37件(対前年11件増)発生しました。インシデントは前年に引き続き発生しませんでした。

これらにより、お客様に多大なご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。



### ●鉄道運転事故とは

「列車衝突事故」「列車脱線事故」「列車火災事故」「踏切障害事故」「鉄道人身障害事故」「鉄道物損事故」をいいます。

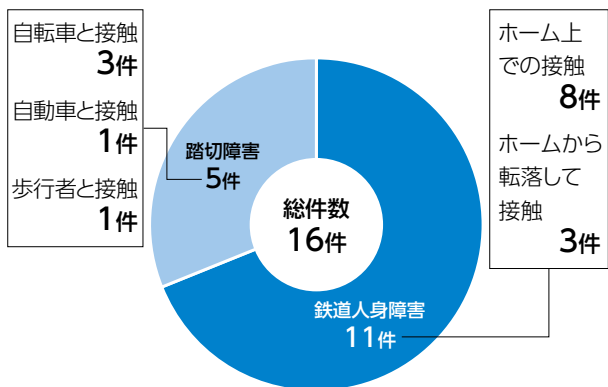
### ●輸送障害とは

鉄道による輸送に障害を生じた事態で、鉄道運転事故以外の運休、また列車に30分以上の遅延が生じたものをいいます。

### ●インシデントとは

事故には至らなかったが、鉄道運転事故が発生する恐れがあると認められる事態をいいます。

## ■鉄道運転事故の発生状況



### ●鉄道人身障害(11件)

- 飲酒されたお客様が列車に接触した。(5件)
- 貧血やめまいを起こされたお客様が列車に接触した。(3件) など

### ●踏切障害(5件)

- 自転車で踏切を渡る際に渡りきれなかった。(3件) など

ホーム上での事故や踏切での事故を防止するため、当社でさまざまな方法により、また鉄道会社合同キャンペーン「プラットホーム事故0運動」にも参加して、お客様に安全なご利用を呼びかけています。

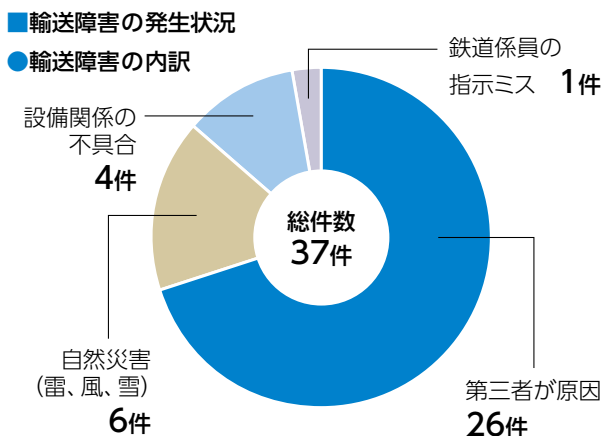


全国交通安全運動での呼びかけ



ホーム上での事故防止啓発ポスター

2013年度 輸送安全の実態



輸送障害の発生時には、早期の運転再開を目指しますが、復旧に際しては、お客様および係員の安全を最優先に取り組みますので、ご理解をお願いします。

また、運転再開の見込み時刻をご案内するなどタイムリーな情報提供に努めています。

■ 第三者が原因の輸送障害

第三者が原因の輸送障害は列車運行を妨害する行為(線路内への置石および物の放置、列車への投石など)や自殺行為が該当します。これらを防止するためのさまざまな対策を実施しています。

列車運行を妨害する行為については防犯カメラや赤外線センサーの設置のほか、最寄駅の警察署とも連携して巡回を強化し、発生防止に努めています。

自殺行為については、駅構内を巡回し、お客様にお声かけを行う活動を行っているほか、政府の「自殺対策強化月間」や「自殺対策強化週間」にあわせてポスターを掲出するなどの対策を行っています。



内閣府自殺対策強化月間ポスター

■ 自然災害による列車遅延

● 落雷による影響

2013年7月7日に井の頭線にて、また8月11日に京王線にて、落雷による機器故障により、運休や遅延が発生しました。

● 風による影響

2013年4月14日および17日に京王線にて、強風により架線にかかったビニール袋を取り除くため、一部列車に運休や遅延が発生しました。

● 降雪による影響

2014年2月8日および14・15日の降雪の影響により、全線にわたり、運休や遅延が発生しました。



高尾線の線路内を雪かきする様子

■ 運輸安全マネジメント評価の実施



2013年6月、国土交通省による「運輸安全マネジメント評価」が実施されました。輸送の安全確保に関する取り組みについて評価いただくとともに、さらなる向上を目指すための助言をいただきました。

## 教育の取り組み

### 鉄道従事員への教育方針

「鉄道従事員として自ら知識・技能の習得に努め、安全・安心・快適な鉄道であるための使命を果たせる人材を育成する」という教育方針に基づいて部署・職位別の教育訓練を行っています。

実務に即した訓練など専門分野に関するものや、部門共通の研修などを通じて、鉄道従事員としての資質の向上に努めています。

#### 主な設備

#### ■ 運転シミュレータ

コンピュータ・グラフィック映像を活用した運転士訓練機能および車掌訓練機能があります。昼夜・降雨などさまざまな条件が設定でき、乗務員の教育や異常時対応訓練などを行っています。



訓練の様子(上)、  
ホームドアの訓練装置(下)

#### ■ 駅業務訓練室



駅で使用している自動券売機や自動改札機などを設置し、業務知識の習得や接客向上訓練を行っています。

### 鉄道教習所における教育

鉄道教習所は、国土交通大臣指定の動力車操縦者の養成所として運転士に必要な知識・技能の教育を行っているほか、事故事例のパネルやCAI(コンピュータ支援教育)教材の製作など、教育内容の充実を図っています。

#### ■ ホーム訓練室



実際のホームを再現し、列車非常停止ボタンや転落検知装置などの機器を使用して、異常時における迅速かつ的確な対応ができるよう訓練を行っています。

#### ■ 駅係員信号扱訓練室



列車ダイヤが大きく乱れたときなどに実施する、信号操作の取り扱い(てご操作)訓練を行います。



## 教育の取り組み

### ■電気係員連動訓練室



信号機や転てつ器の動作に係る通信機器の訓練室です。

### ■CAI(コンピュータ支援教育)教室



鉄道の仕組みや事故防止についてコンピュータソフトによる教材を活用して講義を行うための教室です。受講者は苦手科目などを個別に学習できるほか、教師は遠隔操作で各受講者の進捗の確認やテストの配信を行うことができます。

### ■事故展示室



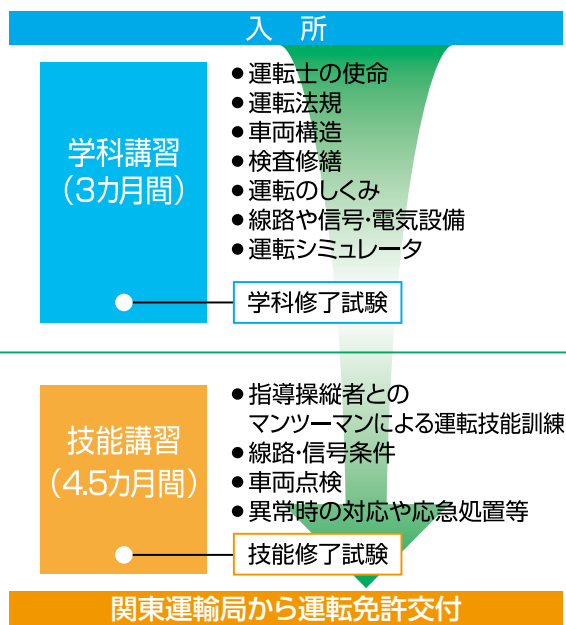
当社および他社の主な事故事例を年表形式にまとめた「鉄道事故年表」をはじめ、個別の事例について当時の写真や新聞記事、略図を用いて解説したパネルが展示してあります。

過去の事故を教訓として再発防止を深く意識するために設けています。

## 運転士の養成

運転士になるためには、駅係員、車掌を経験し、鉄道教習所で学科講習と技能講習をあわせて約8カ月間受け、試験に合格しなければなりません。運転士になった後もフォロー教育および監督者による定期的な添乗指導などを受け、知識・技能の維持・向上を図っています。

### 入所から運転免許交付までの流れ



## 運輸安全マネジメント教育

鉄道事業本部の鉄道従事員全員(保守業務の委託先会社の社員を含む)に対して、安全管理規程や安全重点施策の周知を中心とした運輸安全マネジメント教育を実施しています。会社の安全に対する取り組み状況の説明や、実際に発生した事故事例を教材として安全意識の高揚を図っています。

## 協力会社への教育

軌道・土木・建築、電気、車両などの保守管理や施設改良工事を委託する協力会社の社員に対し教育を実施しています。2013年に発生した触車事故を受け、線路内作業手順を見直し、協力会社の社員一人ひとりに対して教育を行い再確認をすると共に、安全パトロールを実施するなど、教訓を忘れず再発防止に取り組んでいます。

## 安全講演会



安全意識高揚を目的として毎年開催している安全講演会を2014年2月に開催しました。日本ヒューマンファクター研究所 本江彰氏をお招きし、「チームをマネージする～現場力の向上を求めて～」をテーマに講演いただきました。京王電鉄社長をはじめ、京王グループ各社(請負工事施工会社含む)の役員・社員が参加しました。

## 安全活動発表会



鉄道事業本部の各部が取り組んでいる「小集団活動」のうち、安全に関するテーマを選定したチームの中から選ばれたチームが各部の代表として活動内容を発表し、優秀な取り組みを審査により表彰しています。

## その他の教育

地元消防署と公益財団法人東京防災救急協会の協力により、定期的に救命講習を開催し、現在鉄道事業に従事する社員の約2/3が救命技能認定証を取得しています。

## 大規模な訓練

### ■鉄道事業本部総合事故復旧訓練



脱線などさまざまな鉄道事故を想定し、通報・連絡・お客様の避難誘導・現場の復旧などの訓練を毎年総合的に実施しています。2013年11月、稲城消防署と多摩中央警察署の協力をいただき、京王線の若葉台車両基地において、列車が土砂に乗り上げて脱線したことを想定した訓練を実施しました。

### ■防災訓練

地震の発生を想定した列車の緊急停止などの訓練を定期的に実施しています。

## その他の訓練

各現場職場において、定期的に教育訓練を実施しています。

### ■鉄道営業部

駅係員は転てつ器が故障した場合の対応訓練、乗務員は車両故障を想定した訓練などを実施しています。

また、最寄りの消防署・警察署と合同で、列車火災発生などを想定した避難誘導・通報訓練や、初期消火訓練なども実施しています。

### ■工務部・車両電気部

各職場単位で定期的に、レールの折損や架線の断線、列車の脱線などの復旧やクレーン等の取り扱い、機器の故障処置訓練などを行っています。



架線の断線復旧訓練



# 設備の取り組み

## 立体交差化と踏切の安全対策

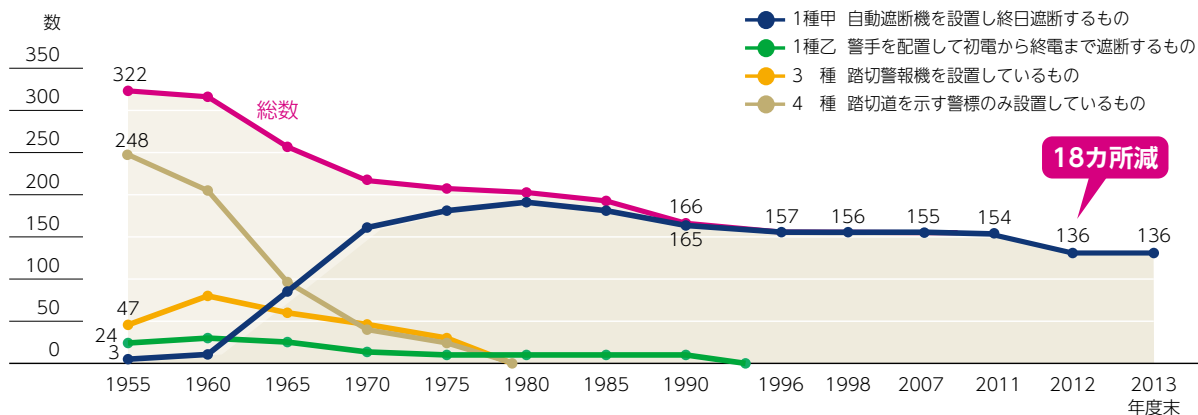
運転保安の向上のため、線路と道路の立体交差化や踏切の整理統合を行ってきました。特に連続立体交差化については1964年に京王線の新宿駅～初台駅間の地下化を皮切りに、直近では2012年8月に調布駅付近を地下化しました。この結果、踏切数は1955年度の322カ所から2012年度末で136カ所に減少しています。

現在、事業主体である東京都とともに京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業を進めています。

この他、踏切に各種保安装置を設置し、保安度の向上に努めています。

※連続立体交差事業：2カ所以上の幹線道路を含む多くの道路と鉄道を連続的に立体化するものであり、道路整備の一環として施行する都市計画事業です。

### 種類別踏切数の推移



### 京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業

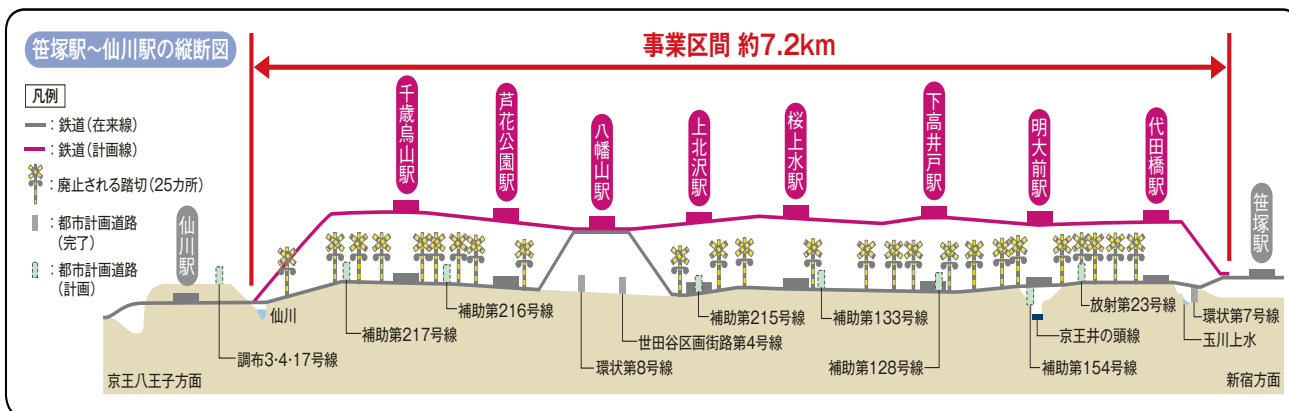
事業主体である東京都および地元区と協力し、京王線(笹塚駅～仙川駅間)連続立体交差事業を実施しています。この事業の完成により、笹塚駅～仙川駅間の約7.2kmを高架化し、井ノ頭通りや千歳通りなどとの立体交差化を図ることで、25カ所の踏切を廃止します。

### 調布駅付近連続立体交差事業

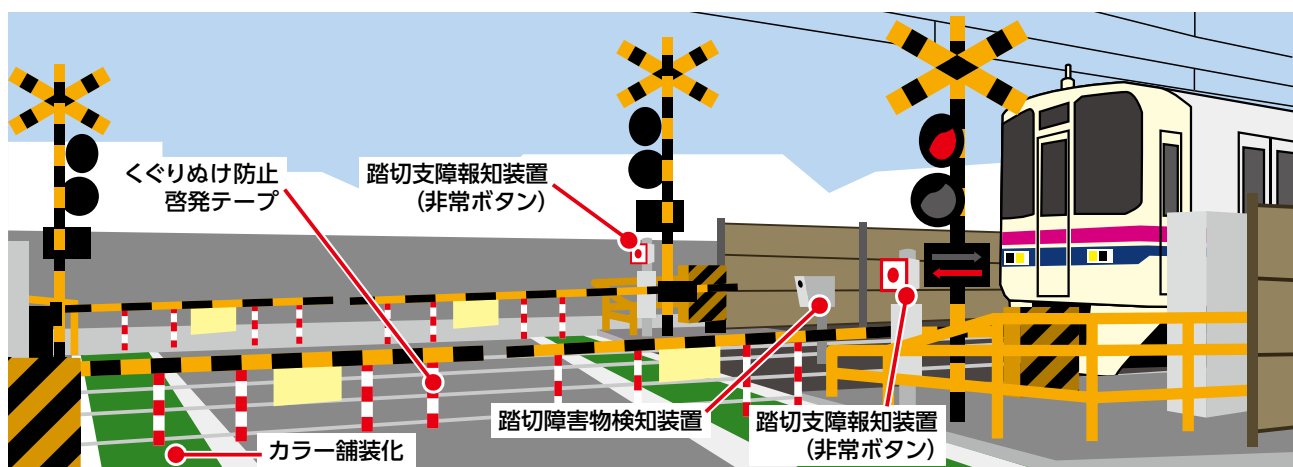
東京都、調布市と協力し、調布駅付近連続立体交差事業を実施しています。

2012年8月に、事業区間の地下線への切替えを実施し、鶴川街道や狛江通りなど18カ所の踏切を廃止しました。

現在、2014年度末の事業完了に向けて、復旧工事を進めています。







■ 踏切の歩道部のカラー舗装化

踏切内における歩行者の安全を確保するため、歩道のあるすべての踏切で車道と歩道を明確に区別するカラー舗装化を行っています。

■ くぐりぬけ防止啓発テープ

遮断中の踏切内への侵入を防ぐため、すべての踏切に設置しています。



踏切歩道部のカラー舗装化



くぐりぬけ防止啓発テープ

■ 踏切障害物検知装置

踏切での列車と自動車などの接触事故を未然に防止するため、86カ所の踏切に設置しています。踏切内の障害物を検知すると、運転士に異常を知らせるとともに、付近の列車を停止させます。



踏切障害物検知装置

■ 踏切支障報知装置 (非常ボタン)

踏切での列車と自動車などとの接触事故を未然に防止するため、すべての踏切に設置しています。踏切内で閉じ込められるなどの緊急事態が生じた場合、ボタンを押すと、運転士に異常を知らせるとともに、付近の列車を停止させます。



踏切支障報知装置 (非常ボタン)

■ 定時間警報装置

朝間ラッシュ時間帯などで、列車が先行列車に接近すると速度が低下し、踏切の遮断時間が長くなり過ぎてしまうため、踏切が閉まり始めるタイミングを遅らせる定時間警報装置を導入しています。朝間ラッシュ時間帯に遮断時間が長くなりやすい京王線の調布以東の踏切を中心に整備しています。

■ 列車種別選別装置

速度の速い列車に踏切の警報開始点をあわせると、速度の遅い列車の際には踏切の遮断時間が長くなり過ぎてしまうため、列車の種別や速度にあわせて踏切を制御する列車種別選別装置を設置し、踏切の遮断時間短縮に努めています。



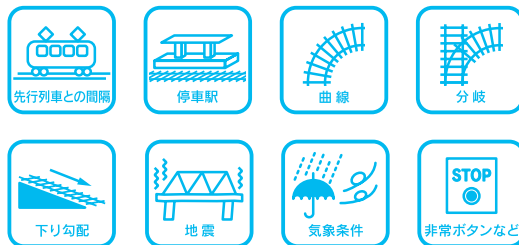
設備の取り組み

施設・設備の充実

■ATC(自動列車制御装置)

先行列車との間隔や曲線、分岐(ポイント)、下り勾配、停車駅などさまざまな条件をもとに、常に適正な速度で走行するよう列車をきめ細かく制御する装置です。これにより、列車速度が制限速度を超えることがなく、また、踏切の非常ボタンや障害物検知装置、駅ホームの列車非常停止ボタンとも連動し、非常の際には列車を自動的に停止させることができます。さらに、気象条件などにより、運輸指令所から任意の区間に速度制限をかけることもできます。

ATCで列車を制御できる主なケース

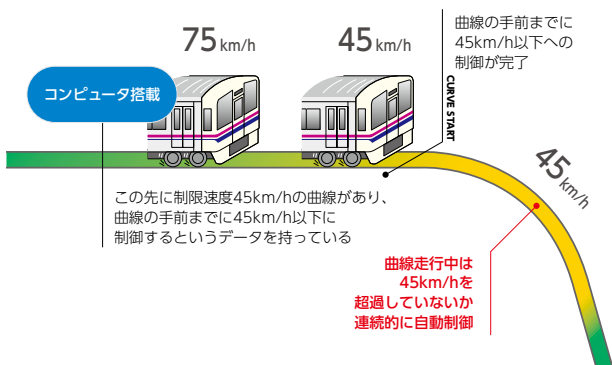


ATC Automatic Train Control

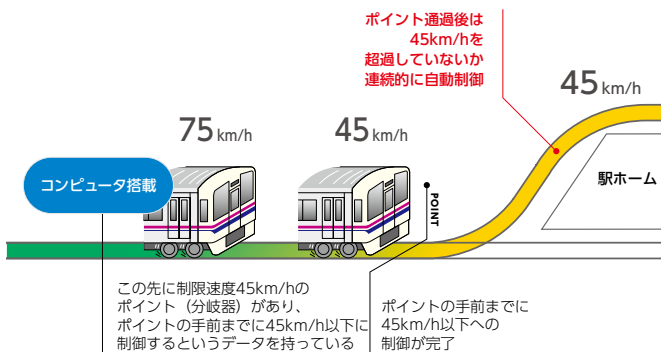
車両に搭載しているコンピュータが、レールに流れている信号電流を受け取ることにより、先行列車との間隔を連続的に把握し、常に適切な速度で走行できるよう、列車を制御します。



■曲線通過の際には



■ポイント(分岐器)通過の際には



■防護無線装置

列車の脱線や踏切内での自動車などの立往生などにより、他の列車の運行に支障を来す恐れがある場合、乗務員が乗務員室にあるボタンを押し、無線による信号を発報する装置です。この信号を受報した列車の運転士は直ちに列車を停止させ、事故を未然に防ぎます。



防護無線装置

■車両の緊急停止装置

運転士の体調が急変した場合などに備えて、ハンドルから手が離れると自動的に非常ブレーキが作動する運転士異常時列車停止装置や、車掌が強制的に非常ブレーキをかける装置を車両に搭載しています。



運転士異常時列車停止装置

### ■鉄道総合指令センター

鉄道総合指令センターには列車の運行などを管理する運輸指令所と、電力の供給を管理する電力指令所の機能が集約され、平常時だけでなく、事故や災害発生時の対応を迅速に行えるよう、連携を強化する体制を整えています。

#### ●運輸指令所



列車の運行を円滑に行うため、TTC(列車運行管理システム)により、列車の進路設定、出発指示合図などを自動制御しています。事故発生時などには、列車の位置や遅れなどを総合的に判断し、運行ダイヤの整理・復旧を図るとともに、駅のお客さま案内ディスプレイや車内案内表示器などにより、お客様に最新情報をご案内しています。

#### ●電力指令所



列車運転用電力と駅設備や信号保安設備などに用いる付帯用電力を供給する、20カ所の変電所の運転状況や送電状況を、集中監視制御システムにより24時間体制で監視しています。

事故や停電が発生した場合は、直ちに予備の設備に切り替え、列車運転への影響を最小限にするなど、電力の安定供給に努めています。

### ■輪重測定装置

脱線事故を未然に防ぐため、車両の輪重比(左右の車輪にかかる荷重のばらつき)が国の定める10%以内となるよう、輪重測定装置を導入し、「重要部検査」「全般検査」や車輪の交換の際に調整しています。

### ■過走防止装置



過走余裕距離が特に短い終端駅などに設置しています。複数の地上子がそれぞれ制限速度と列車の速度を比較し、制限速度以上で列車が通過したときは非常ブレーキを作動させて列車を停止させます。

### ■車輪フランジ角度

車輪にあるひっかけり部分(フランジ)とレールの水平面に対する角度は、国が推奨している70°を従来から採用しています。

### ■脱線係数の測定

曲線を走行中に、車輪がレールを下方方向に押す力と横方向に押す力を測定することで脱線の危険性(脱線係数)を常時監視することが可能な「PQモニタリング台車」を京王線の車両に導入しています。

### ■脱線防止ガード



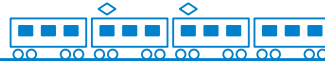
国からの通達では、半径200m以下の曲線に脱線防止ガードを設置することが定められていますが、当社では従来からその基準を上回る半径300m以下の曲線に設置しています。また、分岐器(ポイント)にも順次設置しています。

### ■軌道の平面性

曲線部における軌道のねじれを測定し、国が定める平面性の基準値を満たすよう管理しています。

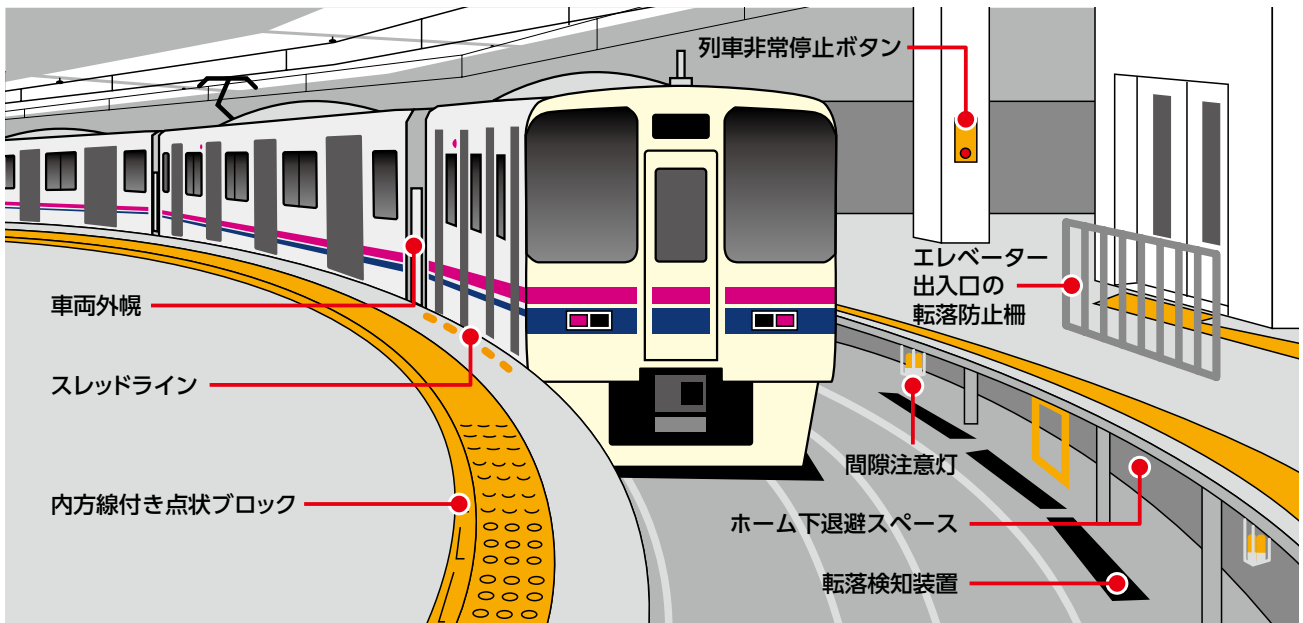
### ■レールの研削

レールの傷などをなくし、安定した列車の走行と騒音を軽減するため、レールを研削しています。



設備の取り組み

お客様のホームでの安全確保



■ホームドア

お客様のホームからの転落やホーム上での列車との接触事故を未然に防止するため、2012年度に調布駅付近連続立体交差事業の地下線への切り替えにあわせて、国領駅、布田駅、調布駅にホームドアを設置しました。

また、新宿駅でもホームドア設置工事を進め、2012年度に3番線で使用を開始し、1番線および2番線については2013年度に使用を開始しました。



新宿駅1番線



布田駅

■内方線付き点状ブロック

目の不自由なお客様のホームからの転落防止対策として、ホーム縁端部にある警告ブロックにホームの内側を示す内方線の整備を進め、2013年度に整備を完了しました。



■間隙注意灯・スレッドライン

曲線ホームなど、車両とホームとの隙間が広く開いてしまう箇所がある駅では、光の点滅で隙間をお知らせする間隙注意灯やスレッドラインを設置しています。



間隙注意灯



スレッドライン

■エレベーター出入口の転落防止柵



エレベーター出入口が線路側を向いているホームの一部では、転落防止柵を設置しています。

■車両外幌

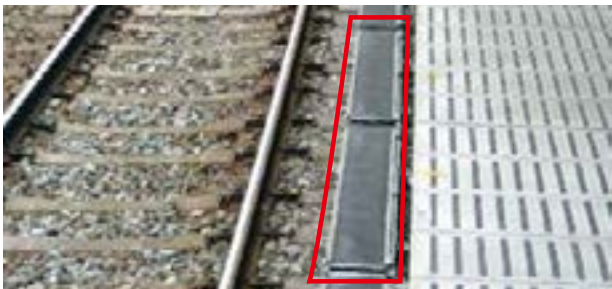
ホームから車両連結部への転落事故を防ぐため、車両の連結部に外幌を設置しています。

■列車非常停止ボタン



万が一、お客様がホームから転落された場合などに、このボタンを押すことで、接近する列車の乗務員や駅係員などに非常を知らせるとともに、付近の列車を停止させます。全駅のホームに約20m間隔で設置しています。

■転落検知装置



曲線ホームなど、車両とホームとの隙間が広く開いてしまう箇所がある駅に設置しています。万が一、お客様がホームから転落された場合、この装置が転落を検知し、列車の乗務員や駅係員に知らせるとともに、付近の列車を停止させます。

■ホーム下退避スペース・ステップ

万が一、お客様がホームから転落された場合の緊急避難場所として、ホーム下に退避スペースを整備しています。また、退避スペースのない箇所には、ホームに上がりやすくなるためのステップを設置しています。



ホーム下退避スペース

ホーム下ステップ

災害などへの対応力強化

■地下駅火災対策

新宿駅における排煙設備および防火区画の設置工事や幡ヶ谷駅における新たな避難通路の設置工事などを行い、2008年度にすべての地下駅火災対策を完了しました。



新たに設置した避難通路  
(幡ヶ谷駅)

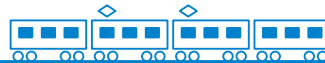


水の幕で防火区画を形成するウォータースクリーン  
(新宿駅)

■自然災害対策

自然災害に早期に対応するため、沿線に地震計・風速計・雨量計・水位計を設置しています。それぞれの計器で観測されたデータは運輸指令所をはじめとする各鉄道現業事務所において、24時間体制で監視しています。





## 設備の取り組み

### ■地震対策

沿線11カ所に地震計を設置しています。地震計が一定以上の震度を感知すると、列車無線を通じて全列車に警報を送るとともに、ATC(自動列車制御装置)により列車を停止させます。

さらに、気象庁の「緊急地震速報」を活用し、震度4以上の地震発生が想定される場合、自動的に全列車に無線による警報を送り、乗務員が列車を安全な場所に停止させます。

また、1995年に発生した阪神・淡路大震災の翌1996年度までに高架橋などの緊急耐震補強を完了していますが、新たな耐震基準に見合う構造物とするため、引き続き高架橋柱をはじめ、トンネルや盛土区間を対象とした耐震補強を実施しています。



鋼板巻きによる高架橋柱耐震補強



盛土区間の耐震補強

### ■鉄道テロ対策

全駅のゴミ箱を撤去しているほか、防犯カメラの設置や係員・警備員の巡回により、不審者・不審物などの監視を行っています。また、車両基地などへの不審者の侵入を防ぐために、防犯センサーの設置や警備員による巡回を実施しています。

さらに、警察署や消防署などとともに訓練を行っています。

### ■風対策

沿線17カ所に風速計を設置しています。瞬間風速が20m/s以上を観測した場合は速度規制を行い、瞬間風速が25m/s以上を観測した場合は列車の運転を中止するなどの措置を行います。

### ■雷対策

線路内の電気設備への落雷を防止する対策として、き電線より一段高いところに避雷針の役割を果たす「架空地線」と呼ばれる防護線の設置が完了したほか、電子機器の耐雷性強化を行っています。

### ■雪対策

パンタグラフは従来のひし形のものより着雪面の少ないシングルアームパンタグラフを採用しています。また、分岐器(ポイント)に電気融雪器を設置しているほか、車両基地等のトロッコ線には着雪・着氷を防ぐためにヒーターを内蔵した電線を使用しています。



シングルアームパンタグラフ

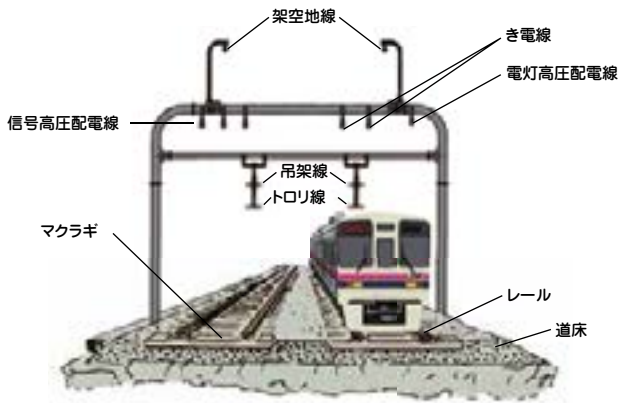
### ■帰宅困難者対策

大規模地震などの災害が発生した際、帰宅が困難になったお客様向けに飲料水や食料、防寒アルミシートの備蓄を行っています。また、自治体と協力して帰宅困難者対策訓練などを実施しています。



渋谷駅での帰宅困難者対策訓練

## 鉄道施設の保守点検



### ■電線路の保守点検

京王線では日中に総合高速検測車を用い、列車に電気を供給するトロリ線の摩耗、偏位、高さなどの測定を行っているほか、目視により外観に異常がないか点検をしています。終電後には、測定器などを用いた点検やトロリ線の高さの調整、各種設備の交換などを行っています。

### ■軌道の保守点検

京王線では日中に総合高速検測車を用い、軌道の高低、平面性、列車動揺などの測定を行っているほか、目視や測定機器を用いた点検を行っています。終電後には、各種設備の交換やマルチプルタイタンパーと呼ばれる作業車による道床のつき固めやレールの高さの調整、レールの歪みの修正などを行っています。



マルチプルタイタンパー

### ■総合高速検測車(DAX)



実際の列車と同じ速度で走行しながら、トロリ線と軌道の状況を同時に検測することができる総合高速検測車を京王線に導入しています。従来は、トロリ線と軌道の検測は主に終電後の限られた時間に別個に行っていましたが、総合高速検測車は架線と軌道を同時かつ日中に検測できるため効率化されました。検測で得られたデータを保守計画に反映し、安全性・乗り心地の向上を図ります。

### ■車両の検査・保守

列車を安全に運行するために定期検査を行っています。日常的な検査は検車区(京王線は若葉台・高幡不動、井の頭線は富士見ヶ丘)で実施し、大規模な検査と修理は若葉台工場で実施します。

#### ●検車区

6日を越えない期間に行う「列車検査」、3カ月を越えない期間に行う「月検査」という定期的な検査と、臨時的検査や小規模な修理を行うほか、車両洗浄装置を使用して、車両の清掃を行っています。また、若葉台検車区では床下型車輪旋盤装置により車輪の削正を実施し、静かで乗り心地の良い車両を送り出しています。

#### ●工場

4年または走行距離が60万kmを超えない期間に行う「重要部検査」と8年を越えない期間に行う「全般検査」のほか、更新工事や大規模な修理を行っています。



若葉台工場



# お客様との連携

## 鉄道運行情報

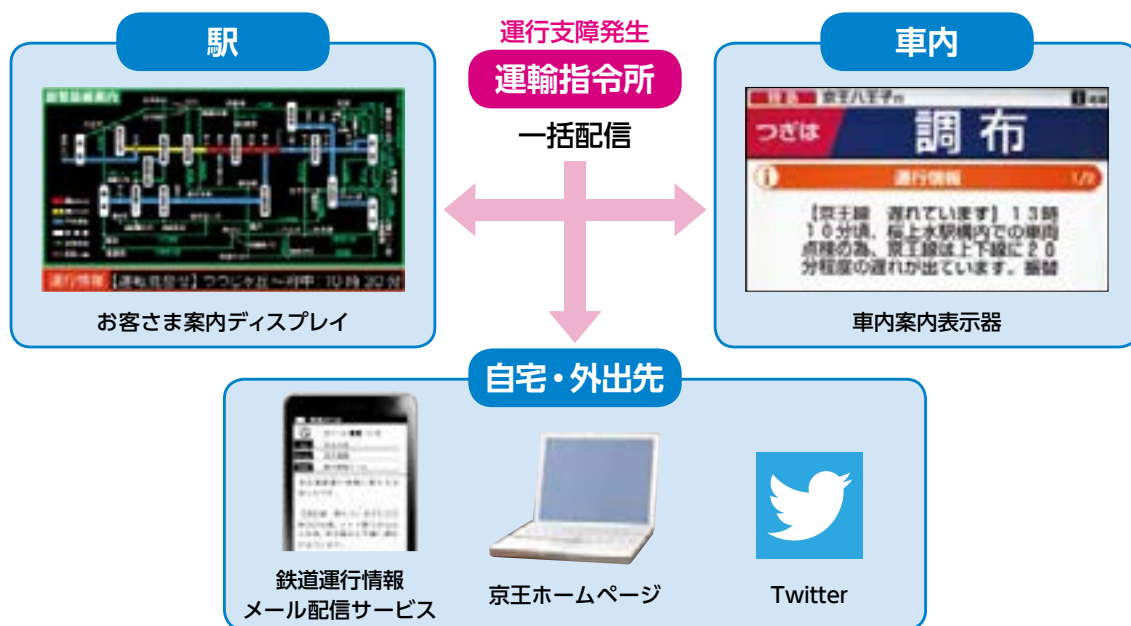
ダイヤ乱れなど、列車の運行に支障が生じた場合、文字情報・音声・路線図のいずれか、または組み合わせにより、お客様に分かりやすく鉄道運行情報をお届けしています。

文字情報については、ホームに設置の「行先案内板」、車内に設置の「案内表示器」のほか、ご登録いただいたお客様の携帯電話等への「鉄道運行情報メール配信サービス」、Twitter

での情報提供を行っています。

路線図については、文字情報とともに、改札付近に設置の大型液晶モニター「お客さま案内ディスプレイ」および京王ホームページにて提供しています。

また、ディスプレイなどに表示される文字情報は、音声に変換され全駅で放送しています。



## こども110番の駅

全駅を「こども110番の駅」にし、子どもが不審者などからの助けを求めてきた場合に、保護し、事情を伺い、必要により子どもに代わって110番通報やご家族への連絡などを行っています。



こども110番の駅  
認定ステッカー

## 京王ニュース

当社の安全性向上やサービス向上・沿線の活性化への取り組みに加え、グループ会社の情報、イベント情報などをお知らせする広報誌「京王ニュース」を毎月発行しています。

## 京王ホームページ

ホームページでは、京王グループの最新情報、電車・バスのご案内をはじめ、沿線情報やIR・企業情報などを掲載しています。事故や災害などで列車の運行に支障が生じた場合には、京王ホームページや携帯電話のサイト「京王ナビ」などにより、運行情報をお知らせするサービスを行っています。



京王  
ホームページ



## お客様へのお願い・お客様の声

### お客様へのお願い

警報機が鳴り始めた時	踏切内に入らないでください。
踏切内で異常があった時	踏切脇にある踏切支障報知装置(非常ボタン)を押してください。
踏切に車が閉じ込められた時	遮断かんを押すように車を前進させると、遮断かんが斜め上に持ち上がりますのでそのまま脱出してください。 万が一脱出できないときは、踏切支障報知装置(非常ボタン)を押してください。
ホームから転落した時	ホーム下退避スペースに逃げてください。 退避スペースのない場合はホーム下ステップを使用してホームに上がってください。
ホームから転落した人を発見した時	列車非常停止ボタンを押してください。
線路に物を落とした時	拾おうとして絶対に線路内には立ち入らないでください。 ホームインターホンなどにより駅係員に連絡してください。
電車に乗り遅れそうな時	発車間際の駆け込み乗車をなさいますと、ホームで転んだりドアにはさまれたりして怪我をすることがあり危険です。無理をせず次の列車をご利用ください。
駅ホーム・電車内で不審者・不審物を見つけた時	駅係員・乗務員にお知らせください。不審物はそのままにして、手を触れないでください。
電車内で異常があった時	車内非常通報器の通報ボタンを押して乗務員へ連絡してください。なお、通話機能がない車両は、停車後に乗務員が対応いたしますので、指示に従ってください。

### 京王お客さまセンター

お客様からお寄せいただいたご意見に対し、適切な対応を図り、安全性向上に活かしています。

#### お客様の声の一例

1

#### お客様からのご意見

近所の踏切付近に柵がない箇所があり、子供が線路内に入れてしまう。柵の設置を検討して欲しい。

#### 当社の対応

現場を確認したところ1m程度の隙間があったため、柵の設置を行いました。

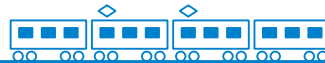
2

#### お客様からのご意見

ホームに設置されているベンチの近くに点字ブロックがあり、座った状態で足を投げ出すと目の不自由な方の事故に繋がる可能性があるため改善して欲しい。

#### 当社の対応

対象となるベンチを点字ブロックに支障をきたさない場所に移設しました。



# グループ会社の安全対策

## 運輸安全マネジメントに基づく安全対策

京王沿線を主な事業エリアとする京王電鉄バスグループ、多摩西部を中心に事業を展開する西東京バス、タクシー・ハイヤー事業を行う京王自動車、引越しなどの総合物流業務を行う京王運輸、御岳山でケーブルカーなどを営業する御岳登山鉄道の京王グループ運輸業各社では「運輸安全マネジメント」に取り組み、安全管理規程の制定、事故件数削減目標の設定、安全意識の向上などを行うとともに、安全関連情報をホームページで公表しています。

また、社長以下役員が営業所を巡回し、安全管理体制の確認や、営業所員・乗務員と安全に関する意見交換を行うなど、積極的なコミュニケーションを通じて、輸送の安全確保を図っています。

## バス

### 安全装置の導入

京王電鉄バスグループ・西東京バスでは、安全運転技術の維持・向上を目的として、全車両にドライブレコーダー<sup>\*1</sup>を導入しています。その他、左折時や進路変更時の事故防止を目的として左折チャイムを導入し、路線バスに車内確認用の補助ミラーを設置しています。また、京王電鉄バスグループでは関東の各民営バス会社に先駆けて「運転訓練車」を導入しました。「運転訓練車」には、アイマークレコーダー<sup>\*2</sup>や安全確認装置<sup>\*3</sup>などにより、運転の様子を映像と音声で記録するとともに、運転状況をチェックできる車内モニターが備えられています。

高速バス事業では、2013年から、衝突被害軽減ブレーキを搭載した高速バス車両を導入しています。衝突被害軽減ブレーキは、走行中に高精度ミリ波レーダーで前車との車間距離を監視し、車間距離が近づき、衝突の恐れがある場合に警報音で注意を促すとともに、衝突の可能性が高いと判断した場合にはブレーキを作動させ、万一の衝突事故の被害を低減します。

その他にも、事故防止対策機器を積極的に導入し2005年から車間距離警報装置を66両、また2011年から、バスジャック

対策として、走行中に運転を妨害されないようにするための囲い(ドライバーズガード)を40両に導入しています。

今後も、技術動向を見極め、事故防止対策機器の導入を積極的に実施していきます。

- ※1 **ドライブレコーダー**：車内外に設置されたカメラとマイク(集音装置)により映像・音声情報を記録・再生する装置です。
- ※2 **アイマークレコーダー**：乗務員が装着したカメラで目の動きを映像化して記録する装置です。
- ※3 **安全確認装置**：乗務員が安全確認を必要とする箇所を点灯などで示す装置です。



運転訓練車



ドライブレコーダー



アイマークレコーダーを装着した運転訓練



衝突被害軽減ブレーキ搭載車両

### ■乗務員教育の実施

京王電鉄バスグループでは、運転技術訓練に加え、安全運転中央研修所で行われる「バス運転実技4日コース」に乗務員が参加し、通常では体験できない運転上の危険などを体験することで、安全運転に対する意識の向上を図っています。

西東京バスでは、毎年、全営業担当員（運転者）を対象とした「営業担当員定期研修」を開催しています。この研修は、社長懇談会、事故防止・接遇向上の座学研修、運転実技訓練の3部から構成され、社長懇談会では、社長が会社方針の説明を行うほか質疑応答を通じ、直接対話することで、現場の声を安全対策につなげています。



運転訓練車内のモニターで運転操作をチェック



運転実技訓練の様子

## タクシー

京王自動車では、「運転の基本動作」の徹底に向けて、「無事故・無違反コンテスト」や、「小集団活動」の中で、乗務員同士がドライブレコーダーの「日常画像」を視聴しながら互いの「運転の基本動作」をチェックする活動などを行っています。



ドライブレコーダーのモニタリング画面

## トラック

京王運輸では、2008年に公益社団法人全日本トラック協会が認定する「安全性優良事業所」の取得率100%（全6事業所）を達成しました（業界全体の取得率は23.0%）。



安全性優良事業所に交付される「Gマーク」が貼付されたトラック



社会性  
報告  
特集

# 沿線活性化の取り組みを進めています

## お客様のニーズにお応えすることで進化する“京王ほっとネットワーク”

京王グループでは、少子高齢化が進むなかでも「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を目指し、高齢者世代が生き生きと暮らせる街づくり、子育て世代が暮らしたくなる街づくりに積極的に取り組んでいます。

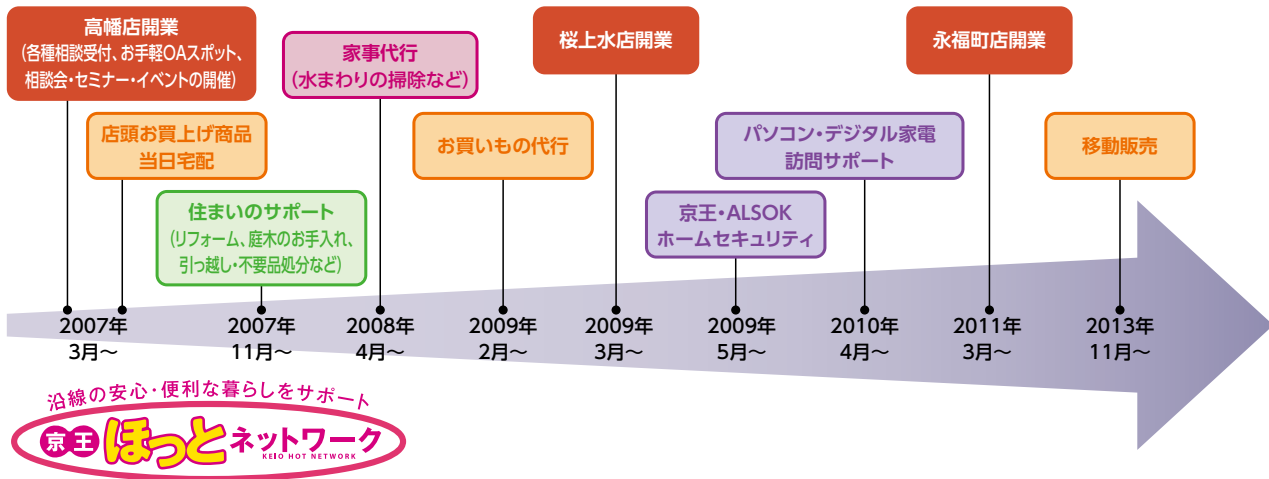
2007年からスタートした生活サポートサービス“京王ほっとネットワーク”は、お客様のニーズにお応えするために、サービスメニューを拡大してきました。

## 多摩市との「地域発展の推進に関する包括連携協定」

当社と多摩市は、2013年8月に「地域発展の推進に関する包括連携協定」を締結しました。

協定では、「幸せな暮らしの実現」「住んでもらえるまち・選んでもらえるまちの追求」「既成の枠組み及び概念に捉われない官民連携への挑戦」を基本理念に、住民の生活に溶け込むサービスの充実および地域の価値創造に向けた取り組みを協力して推進することで、地域の持続的な発展に資することを目的としています。

## 顧客ニーズから「生活サポートサービス」を拡充



お買物の“ほっと”サービス



住まいの“ほっと”サービス



家事の“ほっと”サービス



安心の“ほっと”サービス

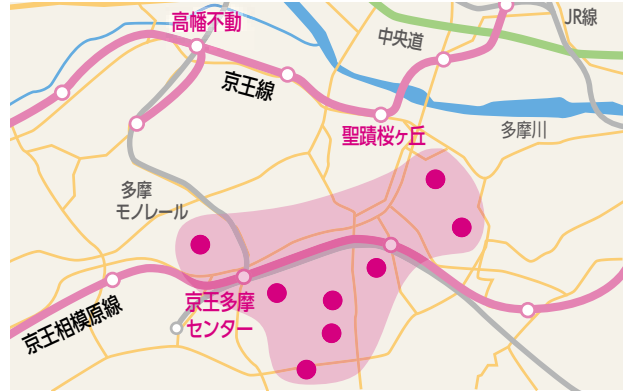


## 移動販売を通じた地域との連携

多摩市と締結した協定に基づいた取り組みの一つとして、2013年11月から多摩ニュータウンを中心としたエリアで、京王ストアの肉・魚・野菜などの生鮮品をはじめ、日用品などを取りそろえた移動販売を開始しました。



移動販売車での販売の様子



移動販売実施エリア

### 社会からの要請



多摩市役所 企画政策部 企画課長 本多 剛史 様

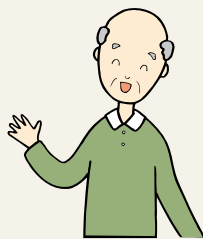
日本全体が人口減少社会に突入し、多摩市においても少子化・高齢化の進展、本格的な人口減少という問題に直面しています。特に、多摩市は人口の約6割が多摩ニュータウンエリアに居住しており、そこに住む高齢者からは日常の外出が不便だという声も多く、健康な暮らしを継続していただくために、いわゆる買い物弱者問題の解決が喫緊の課題の一つでした。

移動販売の開始を皮切りに、同じ危機意識を持つ京王電鉄と多摩市の諸課題解決に向けて、今後とも連携していきたいと思っております。

### 地域の方のニーズ

この年になるとスーパーまで歩くのもつらいため、家の近くまで来てくれて助かります。一人暮らしなので少量の買い物をする時に利用しています。

(70代 男性)



野菜や果物など、足りなくなった時のちょっとした買い物に利用しています。毎週同じ時間帯にトラックが来るので、近所の人と顔を合わせられるのも良いと思います。

(50代 女性)



### 京王電鉄のビジョン

総合企画本部

沿線価値創造部 企画担当課長 芦川 正明

京王グループは、安心・便利で生き活きとした沿線づくりに取り組むことで、沿線とともに発展し続けることを目指しています。

地域の活性化という同じ目的を持つ多摩市と、

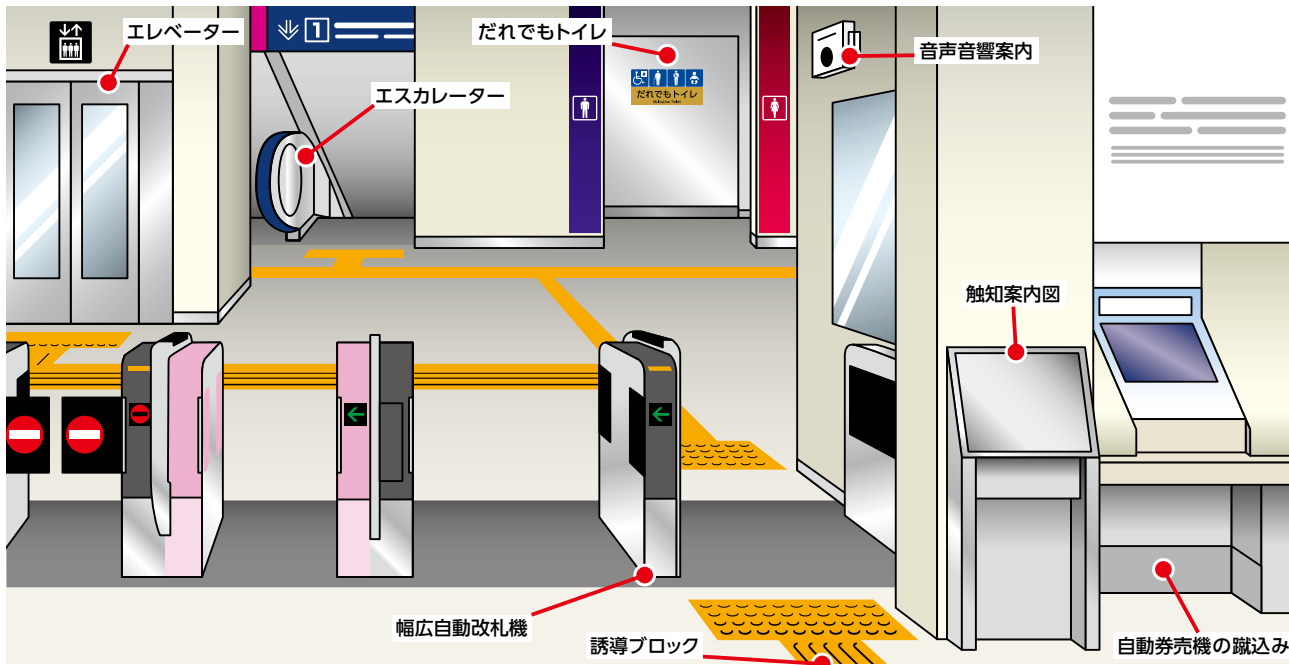


地域の皆様のニーズを伺いながら、移動販売をはじめ、さまざまな生活サポートサービスを引き続き模索していきたいと考えています。



# お客様の利便性・快適性の向上

## 駅設備の充実



### ■エレベーター・エスカレーター・スロープ

全駅の入出口から各ホームまで、階段などの段差がなく移動できるよう、エレベーター・スロープを設置しているほか、エスカレーターを設置しています。エレベーターは66駅に、エスカレーターは46駅に設置しています。

### ■お客様用トイレの環境改善

より快適で清潔感のあるトイレを目指して、改修を行っています。身体の不自由なお客様や小さなお子様連れのお客様にも安心してご利用いただけるよう、だれでもトイレを67駅に設置しています。



改修したお客様用トイレ



だれでもトイレ

### ■幅広自動改札機

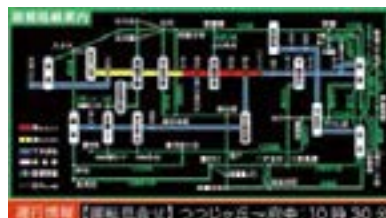
大きな荷物をお持ちのお客様や車いすをご利用のお客様などにご利用いただけるよう、通路幅を広くした自動改札機を68駅に設置しています。

### ■お客さま案内ディスプレイ

通常時は電車の発車案内などを表示するほか、事故や災害などで列車の運行に支障が発生した時には、支障区間や振替輸送経路などを、視覚的に分かりやすく表示する「お客さま案内ディスプレイ」を全駅の改札口付近に設置しています。



【通常時】



【異常時】

### ■行先案内板

列車の発車時刻や種別・行先・停車駅などを文字でお知らせする行先案内板を全駅に設置しています。



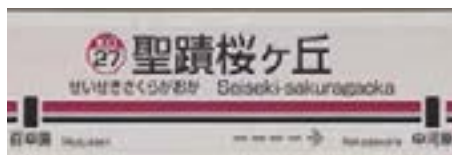
お客様の利便性・快適性の向上

■ 駅ナンバリング

沿線外からお越しのお客様にも当社線を分かりやすくご利用いただけるよう、アルファベットと色で路線を示し、番号で駅名を表示した駅ナンバリングをホーム駅名看板や路線図に導入しています。



ナンバリング表示  
(井の頭線・渋谷駅)



ホーム駅名看板

■ 外国語による情報提供

外国人のお客様へのご案内の拡充を図るため、駅構内の案内看板や行先案内板、お客さま案内ディスプレイなどで2カ国語表記(日・英)または4カ国語表記(日・英・中・韓)によるご案内を行っています。



出口案内サイン



番線案内サイン



行先案内板



お客さま案内ディスプレイ

■ サービススタッフ

電車のご利用に不慣れなお客様や海外からお越しのお客様にも安心してご利用いただけるよう、運賃や所要時間、乗り場や駅周辺の施設などの案内を専門に行う「サービススタッフ」を新宿駅、新線新宿駅、渋谷駅に配置しています。



■ 駅係員呼出インターホン

ホーム上で緊急事態が発生した場合やご案内が必要な場合などに、駅係員と通話ができるインターホンを全駅に設置しています。



■ ホーム待合室

電車が到着するまでの間、快適にお待ちいただけるよう、冷暖房付きの待合室を地下駅などを除く各駅に設置しています。



■ 駅での公衆無線LANサービス

各駅のホームや改札付近で、各通信事業者の公衆無線LANサービスがご利用いただけるよう、環境整備を行っています。



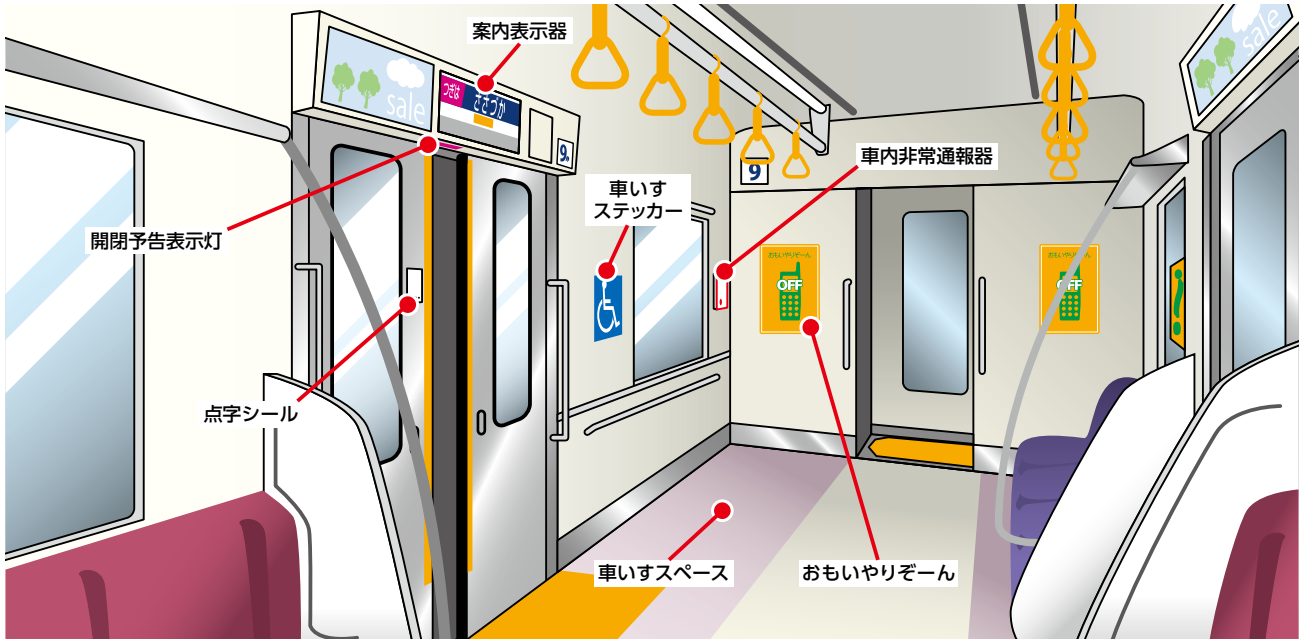
■ 触知案内図・点字による案内

凹凸・点字・ピクトグラム(案内用図記号)を用いた案内図を全駅に設置しています。また、自動券売機には点字および音声案内機能を備えているほか、点字運賃表を全駅に、点字手すりを必要な駅全てに設置しています。





### 車内設備の充実



#### ■おもいやりゾーン

車内の優先席を明確にするため、優先席付近のつり革や座席の色を変えた「おもいやりゾーン」を設置しています。「おもいやりゾーン」付近では携帯電話の電源をお切りいただくようご案内するなど、人に優しい車内環境の整備に努めています。



優先席案内ステッカー

#### ■ユニバーサルデザイン

新造車両の導入や既存車両のリニューアルでは、ユニバーサルデザインの考え方を採り入れ、つり革や荷棚の高さを低くし、手すりやつり革は握りやすい形状にしています。さらに座席端部に仕切り板を設置するなど、車内環境の整備を進めています。



ユニバーサルデザインによる車内の一例

#### ■案内表示器・ドアチャイム

停車駅などを文字でお知らせする案内表示器 (LEDまたは液晶画面) と、ドアの開閉を音でお知らせするドアチャイムを全車両に設置しています。



LED式の案内表示器



液晶画面を用いた案内表示器

#### ■車内非常通報器

電車内で緊急事態が発生した際に、ボタンを押すことで乗務員に通報できる車内非常通報器を全車両に設置しています。





お客様の利便性・快適性の向上

■外国語による情報提供

外国人のお客様へのご案内の拡充を図るため、車内・車外の案内表示器において2カ国語(日・英)または4カ国語(日・英・中・韓)によるご案内を行っています。また、一部の車両には自動放送装置を導入し、2カ国語(日・英)による停車駅や乗り換えなどのご案内を実施しています。



車外案内表示器



車内案内表示器(LED)



車内案内表示器(液晶画面)

■通信環境の提供

新宿駅～笹塚駅間、柴崎駅～西調布駅間、調布駅～京王多摩川駅間のトンネル内においても、携帯電話サービスがご利用できます。また、全車両で通信事業者の公衆無線LANサービスをご利用いただけるよう整備を進めています。



■ニュース・オリジナル情報番組の放映

井の頭線の一部車両において、液晶画面を用いた案内表示器を2画面化し、ニュースやオリジナル情報番組を放映することで、車内空間の快適性の向上を目指しています。



■女性専用車

2001年から平日23時以降に新宿駅を出発する急行系列車の最後部1両を女性専用車として運転を開始し、2005年から平日朝間・夕間の通勤時間帯にも拡大しました。

なお、女性専用車には女性のお客様のほか、小学生以下のお客様、身体の不自由なお客様とその介助者もご乗車いただけます。



女性専用車案内ステッカー

■車いすスペース

車いすスペースを全編成に設置しています。



■点字シール

目の不自由なお客様が、ご乗車になっている車両の号車・ドア位置が分かるよう、車両のドアに点字シールを貼付しています。



■車両ドアの明度差

車両ドアの位置を視覚的に認識しやすいように、ドア先端と足元に明度差をつけています。





お客様の利便性・快適性の向上

バス

■ バリアフリー車両

京王電鉄バスグループおよび西東京バスは、2012年から路線バス(高速・貸切を除く)の全車両がどなたにも降りやすいバリアフリー対応となっています。

車体が傾斜し床面が下がり乗降しやすくさせるニーリング機能のあるノンステップバス949両をはじめ、リフト付きバス33両、スロープ付きワンステップバス13両を導入しています。



ノンステップバス(ニーリングタイプ)

■ バス運行状況案内システム

西東京バスでは、リアルタイムに路線バスの運行状況が分かる案内サービスを全エリアで開始しています。主要停留所(京王八王子駅・JR八王子駅北口・高尾駅北口など)34カ所に設置した音声案内機能付きのLED表示機で運行状況を提供しています。その他の停留所においては、バス到着時刻や目的地までの所要時間などを予測し、パソコン・携帯電話・スマートフォンに情報提供しています。



リアルタイム運行状況

■ 金額式IC定期券

京王電鉄バスグループでは、2011年から、金額式IC定期券「モットクパス」のサービスを開始しています。「モットクパス」は国内バス会社として初の、同一金額区内であれば路線バス全線\*で乗り放題となる「金額指定」の定期券です。

また、西東京バスでも2013年4月から、定期券に設定した運賃内なら西東京バス全路線が乗り放題の新しい金額式IC定期券のサービスを開始しました。

このサービスは、例えば通勤ルートが行きと帰りで異なる場合でも、定期券に設定した運賃内なら1枚の定期券でご利用いただけます。この他にも、乗り越した場合は定期券との差額のみを精算、お手持ちのICカードに書き込むだけで電車とバスの定期券を1枚に統合、さらにICカードの6か月定期券の導入など、利便性が向上しました。

\* 高速バス、空港連絡バス、深夜急行バス、一部のコミュニティバス、イベントバスを除く

■ バス車内無線LANサービス(Wi-Fi)

京王電鉄バスグループでは、路線バスの全車両で、KDDIグループとNTTドコモの公衆無線LANサービスをご利用いただけます。



\*[docomo Wi-Fi]ロゴはNTTドコモの商標です。

また、西東京バスでも山間部を除く路線バス全車両で、KDDIグループの公衆無線LANサービスをご利用いただけます。

## バリアフリーに配慮した霊園

西東京バスが管理運営する都内三大民間霊園の一つである八王子上川霊園には、開放的な欧風庭園をイメージした「ヴェルデの庭」をはじめ、車いすでも移動しやすい完全バリアフリー対応の区画があります。また、無料休憩所の緑葉会館にも「だれでもトイレ」を設置し、人にやさしいつくりになっています。



ヴェルデの庭



段差のない園内

## ユニバーサルデザインタクシー・はぴママサポートタクシー

京王自動車では、2012年12月から八幸自動車(株)、ニュータウン交通(株)と共同で、誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン(UD)タクシーを導入しました。

また、「はぴママサポートタクシー」は妊娠中のお出かけはもちろん、陣痛時やご入退院時の病院への送迎、乳児検診などのお子様との外出時など、継続的に安心してご利用いただけるサービスです。会員にご登録いただくことで、ご出産前後のお出かけ時など、道案内なしでご利用いただけます。担当乗務員は全員、公益財団法人東京防災救急協会(東京消防庁所管)公認のマタニティサポート講習を受講しています。



UDタクシー

### 京王自動車

営業管理部 主任 渡邊 崇史



タクシー車内での出産という出来事を契機に、陣痛時や妊娠中・赤ちゃんをお連れのお客様に、安心してスムーズにご利用いただけるサービスを提供したいという想いから「はぴママサポートタクシー」はスタートしました。お褒めや感謝のお声をいただくことが多く嬉しい限りです。今後もお客様のご要望に応えられるよう、サービスの向上に努めてまいります。

**ご安心ください!**

- 突然の陣痛や破水...
- 妊婦健診や乳児健診の送迎...
- 赤ちゃんが泣いても大丈夫!
- 周りに気兼ねなく目的地へ

登録してある目的地へ迅速にお連れいたします  
24時間いつでも

**はぴママサポートタクシー**

妊婦健診や乳児健診など新しい「命」とママのお出かけをしっかりとサポート

詳しくは 京王タクシー 検索

●お問い合わせ  
京王自動車株式会社営業管理部 042-314-8027 (平日9:00-18:00) 京王自動車株式会社

「はぴママサポートタクシー」リーフレット



お客様の利便性・快適性の向上

ショッピングセンター

京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターでは、身体の不自由なお客様や乳幼児をお連れのお客様など、どなたでも安心してご利用いただける「だれでもトイレ」の整備をはじめ、身体障がい者用駐車場の設置、段差の解消などに取り組みました。またピクトサインを大型化し、視認性を向上させた案内サインに更新しました。また、館内で勤務する従業員向けの総合防災訓練において、AED(自動体外式除細動器)の使用法や心肺蘇生法などを習得する項目を盛り込み、来館するお客様への接遇等の水準向上に努めています。

2014年4月に開業したキラリナ京王吉祥寺においても、「だれでもトイレ」、授乳室、おむつ替えシート、調乳用温水器を備えた「ベビー休憩室」、身体障がい者用駐車場の設置、段差の解消などに取り組みました。



キラリナ京王吉祥寺 ベビー休憩室

京王ストア

京王ストアでは、ゆっくりと会計をしたい方や介助が必要な方、お年寄りやお子様連れのお客様のために、優先的に利用できる「おもしろサービス優先レジ」を導入しています。他の通路よりもスペースを広く取り、ご希望の方には、精算後の袋詰めのお手伝いもしています。



おもしろサービス優先レジ(京王ストア桜ヶ丘店)

京王百貨店

京王百貨店新宿店は、多くのお客様がご利用しやすいよう、休憩場所や「ハートフル多機能トイレ」を各階に設置しているほか、床のフラット化や、フィッティングルームへの手すりの設置などを行っています。

また、店内では、耳の不自由なお客様のお役に立つように、手話の読み取り・表現において一定レベルに達した社員が「手話アシスタント」として接客しています。資格認定後も毎年フォロー研修を継続し、お客様に一定水準のサービスが提供できるように努めています。

さらに、8階の介護用品売場では介護福祉士や社会福祉士がお客様のお手伝いをしています。



空間を広く確保し通行しやすい女性化粧室(京王百貨店新宿店4階)

京王プラザホテル

バリアフリーやエコロジーの取り組みを多くの方に知っていただき、それを社会貢献につなげることを目的に、2004年からチャリティイベント「ボランティア・プラザ」を開催しています。

2014年4月の第11回「ボランティア・プラザ」では、チャリティバザーやロビーコンサート、補助犬デモンストレーションに加え、JAいしのまき桃生ガーベラ部会から仕入れたガーベラを販売し、収益金は日本赤十字社などへ寄付しました。



「ボランティア・プラザ」の様子

## お客様との対話

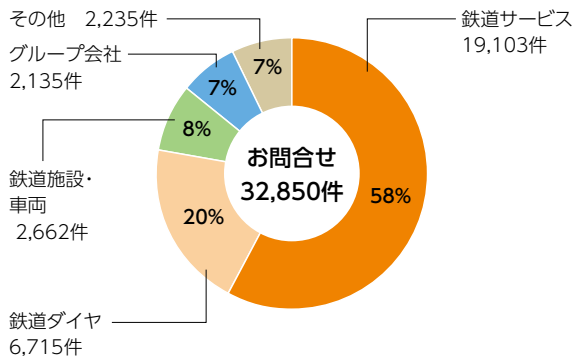
### ■京王お客さまセンター

当社では「京王お客さまセンター」を設け、電話やメール、手紙などによりお客様からのご意見・ご要望をいただいています。2013年度はご指摘、お褒めの言葉などあわせて32,850件のご意見を頂戴し、うち28,480件は鉄道に関するものでした。いただいたご意見に対しては、速やかに回答しているほか、担当部署においてサービス向上や従業員教育に活用しています。

電話 042-357-6161

受付時間 9:00~19:00年中無休(年末年始を除く)

### ■お客様の声(2013年度)



### 京王電鉄

京王お客さまセンター 所長 飯塚 良雄

京王お客さまセンターは、所長以下6名の社員とオペレーターで日々、お客様から多種多様なご意見・ご要望、お問い合わせを受け付けています。電話業務は、お顔が見えないだけに声だけでお客様の心情などを理解するにはいけません。ときには厳しい



お言葉をいただくこともありますが、その際には皆で力をあわせ対応し、京王の窓口としての自覚を持ち業務しています。

### ■車内温度に関するご意見・ご要望

お客さまセンターに寄せられるご意見・ご要望の中で多いものの一つに、列車内の温度に関するものがあります。ホームページからの投稿フォームを用意し、ご乗車時の詳細な状況を伺うことで、適切な温度管理に活用しています。

投稿フォーム

### ■お客様満足度調査

当社では、電車の運行・ダイヤや、係員・駅施設のサービスレベルなどについて、お客様満足度調査を定期的に行っています。お客さまセンターには寄せられない、潜在的なご意見を伺うことで、遅延時の運行情報の適切な提供やトイレの快適性向上など、問題点の把握と改善に努めています。



# 地域社会への貢献

## 次世代育成への取り組み

### ■乳幼児保育

京王沿線における子育て支援サービス全般の運営を行う京王子育てサポートは、東京都認証保育所「京王キッズプラッツ」を、永福町、千歳烏山、東府中、高幡不動、京王多摩川、南大沢（2015年4月に認可保育所に変更予定）にて運営しています。2014年2月には、京王よみうりランドにも新たに開設しました。また、世田谷区の子育て支援複合施設「子育てステーション烏山」においての一時預かり、親子ひろば、病後児保育の受託運営や、京王グループ社員のための事業所内保育所「サクラさーくる」の運営も行っています。

[京王キッズプラッツ]



年齢にあわせた作品づくり



全身運動の様子

### ■学童保育

2011年7月、民間学童保育施設「京王ジュニアプラッツ」を千歳烏山に開設しました。「知育(学習)」「徳育(社会性)」「体育(健康増進)」にバランスのとれたプログラムで、小学生のお子様安心して有意義な放課後生活を提供し、健全な成長をサポートしています。指定小学校からのお迎えサービスや各種プログラムなど、サービスの充実を図っています。

[京王ジュニアプラッツ]

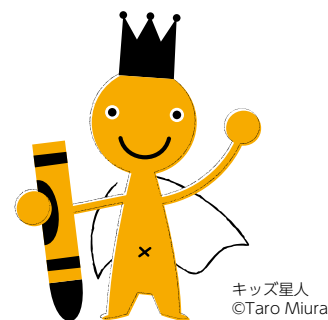
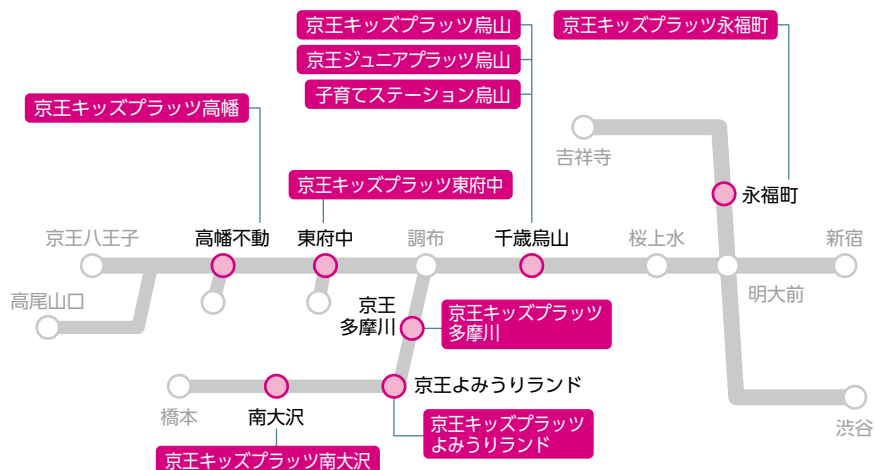


一人ひとりと向き合うプログラム



プログラム「おもしろ実験」の様子

### ■京王キッズプラッツ・京王ジュニアプラッツ施設一覧



キッズ星人 ©Taro Miura

子どもたちが楽しく元気に過ごせる場であることを表現したキャラクター「キッズ星人」



地域社会への貢献

■京王キッズおしごと隊

京王グループへの理解を深めていただくことを目的として、夏休み期間中に、小学生とその保護者の方を対象に、京王グループのさまざまな職場で実際の仕事を楽しく学べる職業体

験プログラム「京王キッズおしごと隊～ぼくの、わたしのお仕事体験～」を2009年から実施しています。



職業体験の様子

2014年開催の京王キッズおしごと隊プログラム

京王電鉄	駅のおしごとを体験しよう！	京王食品	オリジナルパンを作ろう！
	電車の乗務員のおしごとを体験しよう！	京王グリーンサービス	お花屋さんになって花束を作ろう！
	電車の仕組みを知ろう！	京王不動産	家づくりを学ぼう！
	電車の整備のおしごとを知ろう！	リビタ	リノベーションで住まいづくりを体験しよう！
	京王れーるランドで乗務員のおしごとを体験しよう！	京王プラザホテル(新宿)	ホテルのおしごとを体験しよう！
京王電鉄バスグループ	京王バスのおしごとを体験しよう！	京王エージェンシー	カメラマンになってスタジオで撮影しよう！
西東京バス	西東京バスのおしごとを体験しよう！	京王レクリエーション	ゴルフ練習場のおしごとを体験しよう！
京王自動車	タクシーのおしごとを体験しよう！		テニスの楽しさを体験しよう！
御岳登山鉄道	ケーブルカーのおしごとを体験しよう！	レストラン京王	カレー屋さんのおしごとを体験しよう！
京王百貨店	百貨店でプレゼント包装をしよう！	京王設備サービス(杉並公会堂)	最高級のコンサートホールでおしごとを体験しよう！
京王ストア	スーパーのおしごとを体験しよう！	京王重機整備	車両整備のおしごとを体験しよう！
京王書籍販売	本屋さんのおしごとを体験しよう！	京王子育てサポート	保育士さんになって一緒に遊ぼう！

■「バスの乗り方教室」開校

西東京バスでは、将来にわたって環境負荷の低い公共交通機関をご利用いただくことを目的に、沿線の小学校などで、「バスの乗りかた」や「バス車内での乗車マナー」、「交通安全」について学んでいただく「バスの乗り方教室」を実施しています。



「バスの乗り方教室」の様子



## 地域社会への貢献

### ■高尾山峰中(ぶちゅう)修行体験合宿

豊かな自然に囲まれた高尾山で、子どもたちが座禅、法話、写経、水行など、高尾山薬王院の修行体験を通して、「新しい友達をつくる」「自然に触れて自然を大切に」「心に残る思い出をつくる」ことを目的としています。1970年から2014年までに42回実施しています。



座禅



水行



ウォークラリー

## コミュニティ支援

### ■街はぴ

京王沿線各駅の周辺ショップ、イベントやライターがオススメするクチコミ情報などをお届けする沿線クチコミ情報サイト「街はぴ」は、地域の皆様が、相互にコミュニケーションを取り合えるサイトです。



街はぴホームページ

### ■アリスタージュ経堂

2012年8月にシニアレジデンス事業として、世田谷区に介護付有料老人ホーム「アリスタージュ経堂」を開設しました。

京王ウェルシステージが事業の運営主体となり、安心の医療と充実した介護、京王グループ各社が連携した生活サービスを提供することにより、充実したシニアライフをサポートします。



アリスタージュ経堂



■ りえんと多摩平

2011年に築約50年の団地5棟をリノベーションした「たまむすびテラス」は、高齢者住宅、ファミリー向けの菜園付賃貸住宅、そしてリビタが企画・設計・運営するシェア型賃貸住宅「りえんと多摩平」で構成する多世代コミュニティです。リビタは、UR都市機構の「ルネッサンス計画Ⅱ」に参画企業の一社として、UR団地を再生した地域連携・多世代多国籍型交流街区「りえんと多摩平」の創生に取り組んできました。

リビタの企画から運営までのノウハウを活かし、まちびらきイベント以降も、さくらまつりなどの開催に積極的に関与したことで、住人の世代を超えた交流が広がっています。また、フリーマーケット、音楽ライブ、写真展などを通じて団地と地域とのつながりも広がっています。

人々が集う新たな場所へと生まれ変わらせたことが評価され、「たまむすびテラス」は公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2012年度グッドデザイン賞」を受賞しました。また、この計画の土地有効活用や維持・運営面における成功事例として「都市みらい推進機構理事長賞」を受賞しました。



たまむすびテラスでのイベントの様子



りえんと多摩平

TOPICS

■ 「京王沿線物語」のポスター・冊子展開

京王沿線の街に愛着を持つ方、沿線で頑張っている方、沿線にゆかりのある方から、「街」や「人」にまつわる心温まるエピソードを募集し、その想いを100周年記念ポスター・冊子として2013年度に紹介しました。沿線のお客様からの声を取り上げることで、お客様と京王とが、過去から現在そして将来の沿線をともに作り上げているというつながりの深さを形に残しました。



「京王沿線物語」の冊子

「京王沿線物語」に登場いただいたお客様の声

稲城の梨生産組合 副組合長 城所 貞夫 様

私は、京王よみうりランド駅のすぐ近くで梨農家を営んでいます。京王電鉄は地域に根差した企業という印象があったため、「京王沿線物語」に出演しました。

京王線は、都心のビル群から緑豊かな多摩地域へと車窓が変わる路線だと思いますので、そうした景色が将来にわたって続くよう、京王電鉄には地域とともに力を合わせてほしいと思います。





地域社会への貢献

文化・スポーツ振興

■京王音楽祭

1994年から開始した「京王音楽祭」は2013年で20回を数えました。毎回テーマに趣向を凝らし開催するチャリティコンサートです。引き続き入場料の一部は、東日本大震災により被災した子どもたちのために、「東日本大震災みやぎこども育英募金」「いわての学び希望基金」「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ寄付しています。



京王音楽祭

■京王アニバーサリー駅伝

2013年12月に東京・調布市にある味の素スタジアムにおいて、京王の電車・バス開業100周年記念「京王アニバーサリー駅伝」を開催しました。

これは、京王の電車・バスが開業100周年を迎えたことを記念し、日ごろの感謝の気持ちをお伝えするとともに、沿線にお住いの皆様楽しんでいただけるよう開催したものです。

沿線の学生・団体によるパフォーマンス、キャラクターが大集合するイベントをステージで実施したほか、ミニSLの運行も行うなど、ご家族・お子様も楽しめる地域のイベントとなりました。



「京王アニバーサリー駅伝」の様子

■京王沿線ウォーキング

1997年に開始した「京王沿線ウォーキング」は、これまで延べ20万人以上の方に参加いただいています。京王沿線の見どころや隠れた名所を中心に、どなたでも参加しやすい10km程度の散歩コースを用意し、例年8回実施しています。

■多摩未来奨学金

公益社団法人「学術・文化・産業ネットワーク多摩」が実施している「多摩未来奨学金」というプログラムに参加しており、寄付金の提供、企業と学生の勉強会開催などを通じ、地域の学生・将来の多摩を支える学生の支援を行っています。



学生との勉強会

海外支援活動

■寄付を通じた国際協力

京王電鉄本社ビルでは、2010年から不用となった中古書籍、使用済切手を回収し、国際協力NGOシャプラニールを通じて、南アジアなどの支援活動に役立てています。

■バラのフェアトレード

京王グリーンサービス\*では、フェアトレード認証を受けたバラを2008年9月から販売しています。フェアトレードは、安定した価格で継続的に取引することで生産者を支援する仕組みです。ケニア産の高品質なバラを仕入れた一定額がケニアの労働環境の改善などに役立てられています。

\* 取扱い店舗：フラワーショップ京王 永福町店、つつじヶ丘店、府中店、桜ヶ丘東口店、京王多摩センターSC店、橋本店

## 行政・協力会社との連携

### ■コミュニティバス

東京都内では、地方自治体を中心となって、コミュニティバスを開設しています。京王電鉄バスグループと西東京バスは、利便性の高い街づくりに貢献するため、以下のバス路線を受託・運行しています。



みたかシティバス

### コミュニティバスの運行受託状況

名称	行政	運行	開始年月
日野市ミニバス	日野市	京王電鉄バス	1986年8月
多摩市ミニバス	多摩市	京王バス南	1997年11月
調布市ミニバス	調布市	京王バス東	2000年3月
るのバス	あきる野市	西東京バス	2000年10月
すぎ丸	杉並区	京王バス東	2000年11月
CoCoバス	小金井市	京王バス中央	2003年3月
ぶんバス	国分寺市	京王バス中央	2003年3月
はちバス	八王子市	西東京バス	2003年3月
ちゅうバス	府中市	京王バス中央	2003年12月
ハチ公バス	渋谷区	京王バス東	2004年9月
はむらん	羽村市	西東京バス	2005年5月
新宿WEバス	新宿区	京王バス東	2009年9月
みたかシティバス	三鷹市	京王バス東	2012年3月

### ■PFI事業

PFIとは民間資金主導型の公共施設整備手法で、民間の資金とノウハウを活用して、効率的で効果的な公共サービスを提供する仕組みです。

2006年に杉並区のPFI事業として杉並公会堂がリニューアルオープンしました。屋上緑化や雨水利用トイレなど、環境に配慮した施設となっており、施設の維持管理や、コンサート・イベントなどの企画・運営を京王設備サービスが手がけています。



杉並公会堂

### 京王グループのPFI事業一覧

物件名	開始年月	主な業務内容
高尾の森わくわくビレッジ	2005年4月	施設維持管理・運営全般
杉並公会堂	2006年6月	施設維持管理・イベント等の企画運営
ルミエール府中	2007年12月	施設維持管理・窓口運営補助
東京地方・家庭裁判所立川支部	2009年3月	施設維持管理
稲城市立iプラザ	2009年10月	施設維持管理

### ■協力会社への教育

軌道・土木・建築、電気、車両などの保守管理や施設改良工事を委託する協力会社の社員に対し、定期的な教育を実施しています。工事の実施にあたっては作業前に毎回行う安全作業指示に加えて、当社の社員と合同で安全総合点検を実施しています。この他、作業中に列車の接近を見張る列車監視員に対しても専門教育を実施しています。



作業前の安全作業指示の様子

## 株主・投資家の皆様との対話

### ■ディスクロージャー・ポリシーに基づいた

#### 適時適切な情報開示

株主・投資家の皆様への情報開示を行うにあたっての基本的な考え方として、2006年4月に「ディスクロージャー・ポリシー」を制定し、本ポリシーに掲げる内容の実現を図るため、ディスクロージャー委員会を設置しました。ディスクロージャー委員会は、四半期ごとの業績開示にあわせて開催し、決算資料の内容確認を行うほか、年間を通じて適時適切な情報開示を行っています。

具体的には、四半期ごとの業績開示をはじめ、年2回の決算説明会の開催、インベスターズガイド「けいおう」などの発行を通じて、財務や株式、営業の概況に関する情報を積極的に開示しています。これらの開示資料やニュースリリースなどについては、ホームページ上でも公表するなど、個人投資家の皆様にも分かりやすい情報開示に努めています。

京王グループ・ディスクロージャー・ポリシー  
<http://www.keio.co.jp/company/stockholder/disclosure/>

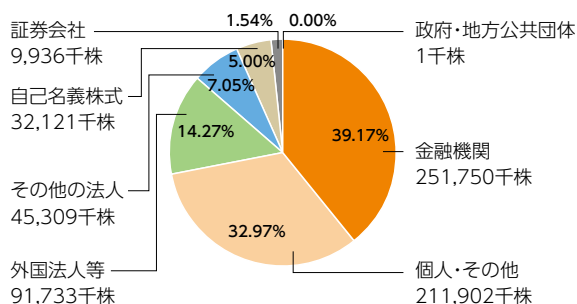
### ■株主の状況

当社の2014年3月31日現在の株主数は36,125名です。全体の約7割が、沿線の個人株主です。

株式の状況	発行可能株式総数	1,580,230,000株
	発行済株式総数	642,754,152株
	株主数	36,125名

### ■株式分布状況

(2014年3月31日現在)



### ■株主総会

2014年6月27日に京王プラザホテル八王子にて第93期定時株主総会を開催し、906人の株主様に出席いただきました。当日は、2013年度の事業の経過や業績について分かりやすくお伝えするよう努めました。

### ■施設見学会

当社および京王グループへの理解を深めていただくため、施設見学会を開催しています。

#### ●個人株主向け

2014年8月に、京王れーるランドや、京王プラザホテル(新宿)のパティシエのデザート盛り付けなどの見学会を開催しました。



パティシエによるデザート盛り付け

#### ●証券アナリスト向け

注目度の高いリビタについて実際の物件を見学することで事業内容の理解を深めることを目的に、リノベーション物件の見学会を開催しました。

### ■長期保有株主優待制度

2014年3月末から、長期保有株主優待制度を導入しました。当社株式を3年以上継続して5,000株以上保有している株主様へ通常の優待に加えて、「電車全線優待乗車券」8枚と「京王れーるランドの入園券引換券」「京王百草園の入園券」を各2枚発行します。

### ■指定格付機関からの評価

当社では、鉄道事業における安全性の向上策や、沿線の活性化と競争力の強化に取り組みながらも、常に財務体質の健全性を意識しながら、30%を超える自己資本比率を維持しています。

このような着実な事業展開を行っていることが評価され、1998年に取得した株式会社日本格付研究所(JCR)によるAA(ダブルAフラット)の格付けを継続して得ています。

## 人材の活用と働きやすい職場づくり

### 多様な人材雇用

#### ■公正な採用方針

京王グループは、公正採用選考人権啓発推進員制度（厚生労働省）、採用選考に関する企業の倫理憲章（日本経団連）に基づき、秩序ある採用活動を行っています。

#### ■高齢者再雇用

高齢者等の雇用の安定等に関する法律の二度の改正に対応して、当社は定年退職した社員を再雇用する「継続雇用制度」を2006年に創設し、2013年に再構築しました。2014年8月現在、継続雇用社員は156名となっています。



継続雇用社員の職場での打ち合わせの様子

#### ■働きやすい職場環境づくりに向けた調査の実施

当社では2011年から、紙およびWEBを使用した無記名式アンケートによる「従業員意識調査」を実施しています。2013年は、対象2,815名のうち94.7%から回答があり、従業員の満足度は概ね良好な結果が得られました。社員一人ひとりが主体的に働きやすい職場環境づくりをするために、課題の共有化を図るべく、調査結果を社内報で公表しました。



社内報での調査結果報告

#### ■障がい者雇用

2004年に特例子会社「京王シンシアスタッフ」を設立しました。2006年からは、関係会社特例認定を取得し、京王グループ全体の障がい者雇用も拡大しています。2014年7月現在、当社および関係会社特例認定を取得した京王グループ9社を含めた障がい者雇用率は2.34%(163名)となり、社内施設の清掃業務、名刺作成、事務補助作業などに従事しています。



名刺作成の様子



清掃作業の様子

#### ■地域限定雇用

西東京バスでは、東京都檜原村との共同で、檜原村居住者（移住者）限定でバス運転士の採用活動を2012年8月から実施しました。檜原村は島しょ部を除いた東京都で唯一の村で、秋川渓谷などの豊かな自然に恵まれています。この檜原村で暮らしながら、通勤圏にある同社事業所（五日市営業所：東京都あきる野市）のバス運転士（正社員）を募集し、地域と密着した、地域に貢献する雇用施策として推進しています。

また、奥多摩町でも同様の取り組みを行っています。



人材の活用と働きやすい職場づくり

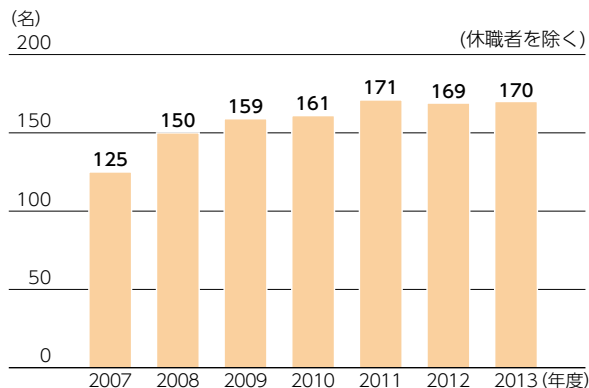
女性の活躍

当社の2014年3月末における女性社員は170名、うち主任以下の総合職は40名、管理職は16名となっています。

従来男性中心だった技術系職場においても女性が活躍しているほか、2014年6月からは北村敬子氏が社外監査役として選任され、就任しています。

なお、当社の取り組みは、内閣府へ報告し『女性の活躍「見える化」サイト』にて対外的に公表しています。

■女性籍人数の推移



技術者として活躍する女性社員の声



工務部 施設管理所 建築担当  
中土井 明美

鉄道業界が駅施設のバリアフリー化工事の真ただ中に入った時に入社した私は、つつじヶ丘駅や西調布駅などのバリアフリー化工事を担当しました。どんなお客様にも気持ちよく使っていただける駅づくりという仕事は、やりがいがある仕事だと思います。

現在は現場事務所で鉄道施設のメンテナンスと工事管理に取り組んでおり、建築の現場で働く女性第1号として頑張るとともに、「中土井にできるなら、私にもできるだろう」と後輩たちに思ってもらえると嬉しいです。

私は京王初の女性車両技術者として働いています。「車両電気部の技術者には女性がいない」という話を採用面接の時から聞いていたので、まだ誰もいないのならば私がやってみよう！という意欲が湧きました。

今では、車両点検や故障対応などに加えて、車両基地内で車両を運転できる免許を取得し入出庫作業を行うなど、業務の幅が広がり、やりがいを感じています。



車両電気部 富士見ヶ丘検車区  
玉井 美鈴

管理職として活躍する女性社員の声



広報部長  
古屋 圭子

2014年6月に広報部長になり、「当社で初めての女性部長です。」と紹介されるとプレッシャーですが、それ以上に「広報部長」としてやりがいを感じています。これまでの鉄道部門や広告会社出向等の経験を活かしながら、お客様視点を持って仕事を進めたいと思っています。

「広報」の業務範囲は広く、パブリシティ活動や危機管理、広聴活動、社内報やPR誌発行、CSRコミュニケーション推進などさまざまです。これらの業務を部員それぞれが「会社の代表である」との気概を持って取り組めるよう、まわりの意見を聞きながらチームとして最大限の成果が出せるマネジメントを行っていきたくと思っています。

## 人権・労働安全衛生

### ■衛生講演会を開催

当社では、定期的に衛生講演会を開催し、診療所の産業医による健康に関する講演を行っています。



衛生講演会

### ■メンタルヘルスケア

当社では1998年から社員のメンタルヘルス調査を実施し、社員本人へは自分のストレス状態の結果を報告し、職場長には組織についての現状分析報告を行っています。この他にも臨床心理士による相談窓口の設置や産業医によるセミナーの開催など、自分自身による気づきと対処、職場における支援の啓発、保健師や精神科医も加えた事業場内の産業保健スタッフによる支援を進めてきました。また、メンタルヘルス調査会社の相談窓口によるケアもあわせて行っています。



医師による面談

### ■人権・労働に対する基本的な考え方

京王グループは、京王グループ行動規範に基づき、誰もが働きやすい職場づくりを目指しています。

### ■労働安全衛生委員会

当社では、「安全・衛生のひろば」を定期的で開催し、安全衛生活動の概況や安全衛生委員会の活動状況などについて議事録を作成し、周知しています。



安全・衛生のひろば

### ■ハラスメント防止

京王グループ各社では、ハラスメント防止のために研修を実施するとともに、相談窓口も設置しています。



セクハラ防止ポスター



人材の活用と働きやすい職場づくり

ワーク・ライフ・バランス

■年休の取得率向上に向けて

働きやすい職場環境づくりのため、「ワーク・ライフ・バランス推進のためのセミナー」実施などに取り組んでいます。

また「計画的な年次有給休暇の取得推奨」「年次有給休暇の半日単位付与」などにより休暇の取得を推進しており、2013年度の年次有給休暇の取得率は80.4%となっています。



ワークライフバランス推進のための両立支援セミナー

■社員の子どもによる職場見学会

社員の家族に職場への理解を深めてもらうため、夏休み期間中に「社員の子どもによる職場見学会」を開催しています。

2014年度は60名の子どもとその保護者が参加し、鉄道教習所や車両工場を見学しました。



職場見学会の様子

■育児支援

子どもを養育し、引き続き勤務する意思のある社員が育児に専念するために、子どもが満1歳に達して以降最初の4月15日まで休職できる制度を設けています。また、育児をしながら勤務する社員に対して、超過勤務を命じないことや、休職復帰後の社員に対する育児のための就業時間などに関する措置(子どもが3歳まで・小学校就学前まで・小学4年まで)についても定めています。また、育児に専念したい社員が一旦退職した後、再び入社する機会を与えられる「再入社制度」も導入しています。

次世代育成支援対策についても今後推進を図り、仕事と家庭がより両立できる職場づくりに努めます。

京王グループ社員の育児を支援し、仕事と育児の両立を支援するため、2006年に事業所内保育所「サクラさーくる」を設置しました。京王グループ社員6名(2014年8月現在)が、この施設を利用しています。



事業所内保育所「サクラさーくる」



## 今後について

当社では、生活関連サービスの拡充などにより、沿線の活性化を推進し、「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を目指しています。今後も、「京王ほっとネットワーク」や「京王キッズプラッツ」に加え、地域コミュニティのさらなる活性化を図っていきます。

また、沿線自治体、大学、企業などとの連携をさらに深め、駅伝やサッカーなどのスポーツ振興への協賛や、文化や歴史、子育てなどに関する新しい教育プログラムの検討を進めるなど、より沿線の皆様のニーズに応えたCSRイベントを実施・検討していきます。

## 具体的な取り組み事例

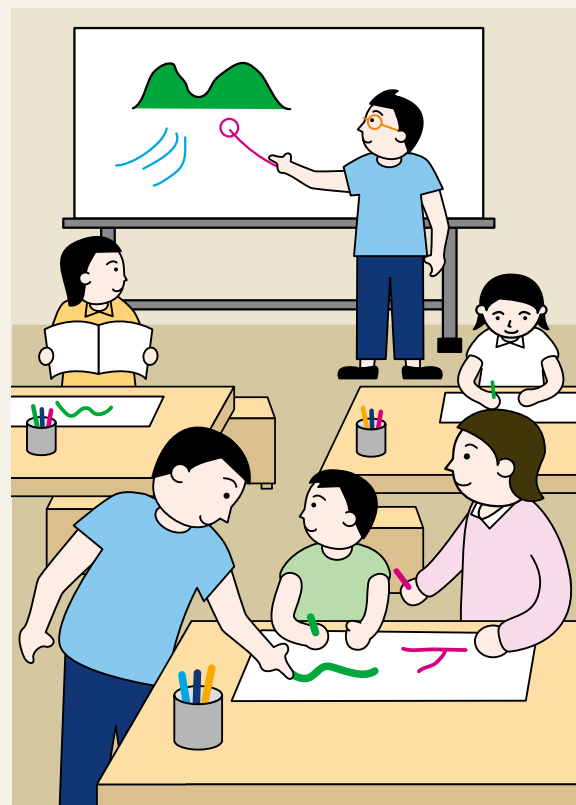
### 京王駅伝フェスティバル 2014

2014年11月24日(月・休)に調布市味の素スタジアムにて、開催します。駅伝だけでなく、ご家族の方々にもお楽しみいただけるよう、沿線で人気のキャラクターによる運動会や、沿線の学生・団体によるパフォーマンス、鉄道会社ならではのお子様向け電車イベントも行います。

告知チラシ

### 京王アカデミープログラム

今後、沿線の大学、企業、行政、施設などの団体との連携をさらに強化し、幅広い年齢層に向けて、文化、教育、歴史、美術、子育て、環境などさまざまなテーマについて「京王アカデミープログラム」として企画し、多くの皆様に参加いただけるよう取り組んでいきます。



開催イメージ



## 環境報告 特集

# 鉄道ではより効果の高い 環境施策を進めています

### 「交通関係環境保全優良事業者等表彰」を受賞

2014年6月、当社は、国土交通省関東運輸局長から「交通関係環境保全優良事業者等表彰」を受賞しました。エネルギー効率の優れた交通機関であることにとどまらず、エネルギーを使用する企業の社会的責任として、「省エネ車両の導入」や「省エネ設備の導入」による地球温暖化防止、「廃棄物削減と資源の有効活用の推進」や「自然との共生活動」による環境保全に積極的に取り組んできたことが、今回の受賞に至りました。

### 表彰を受賞するに至った主な取り組み

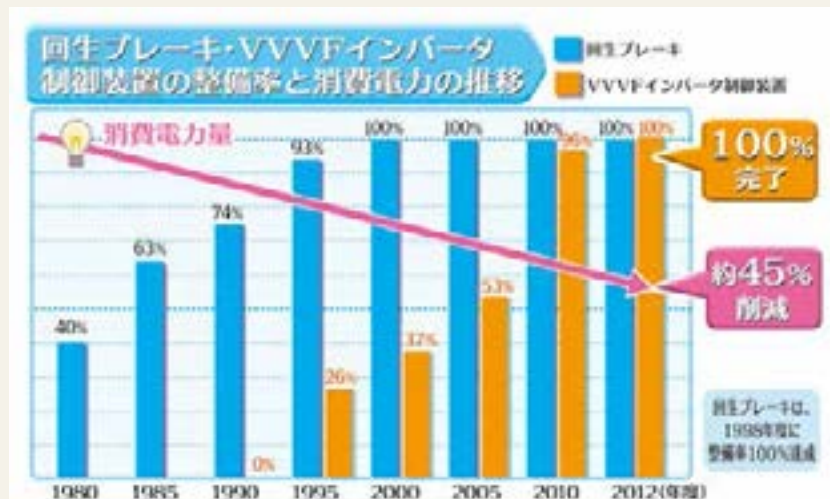
回生ブレーキおよびVVVFインバータ制御装置を搭載した省エネ車両の導入完了により、消費電力はこれらが導入される前の車両と比較して**約45%の削減**！

回生ブレーキとは、電車がブレーキをかけた際にモーターを発電機として作動させ、発生した電力を架線に戻すことで他の電車が見えるようにする装置です。1967年の井の頭線3000系車両の新造にあわせて導入を開始し、1999年に京王線・井の頭線の全車両への導入が完了しました。



回生ブレーキの仕組み

VVVFインバータ制御装置とは、電車の加速力や速度などに応じて電圧や周波数を変化させながらモーターを効率よく動かす装置です。当社では1992年に初のVVVF車両として京王線8000系車両を導入して以降、順次、導入を進め、2012年に京王線・井の頭線全車両のVVVFインバータ制御化を完了しています。



各装置の整備率推移

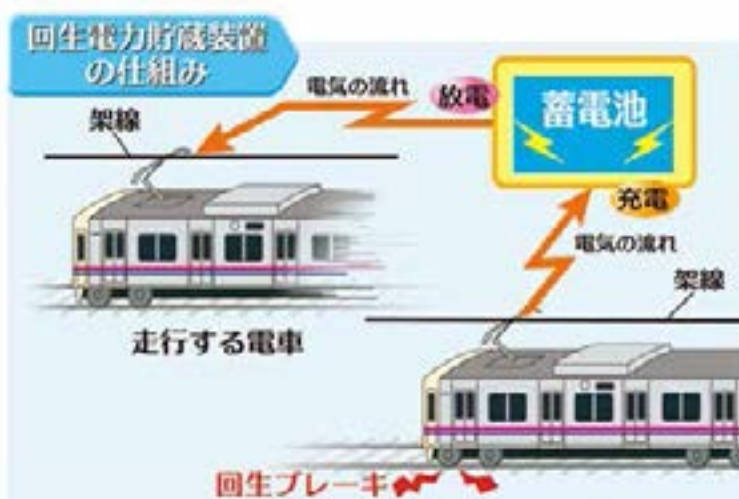


## 今後のさらなる取り組み

### ■ 回生電力貯蔵装置

堀之内変電所において、「回生電力貯蔵装置」を導入します。この装置は、電車がブレーキをかけた際に発生する回生電力を変電所に設置した蓄電池に充電し、電車が走行する際の電力として供給します。

当社は既に、全車両に回生ブレーキを装備していますが、この貯蔵装置の導入により、回生電力の利用効率を高め、電車の走行用電力のさらなる削減を図ります。



### ■ 駅舎補助電源装置

東府中駅において、「駅舎補助電源装置」を導入します。この装置は、電車がブレーキをかけた際に発生する回生電力を駅設備で使用される電力に変換して、駅の照明や空調・エスカレーターなどに供給します。この装置の導入により、回生電力の利用効率を高め、さらなる省エネルギー化を図ります。



### ■ 照明器具の高効率化

駅構内や車両の客室内、トンネル内の照明設備において、従来の照明設備に比べて大幅に消費電力を削減できるLED照明を導入してきましたが、今後もさらなる消費電力の削減のため、駅構内や車両の客室などの照明器具の更新にあわせて、高効率化を進めていきます。



駅構内のLED照明



電車内のLED照明

## 京王電鉄



鉄道事業本部 計画管理部 計画担当課長補佐 河辺 恵介

「鉄道は環境にやさしい交通機関」と言われていますが、エネルギーを多く使用する企業の社会的責任として、回生電力の有効活用やVVVFインバータ制御装置の導入などの省エネルギー化に努めてまいりました。今後もさらなる省エネルギー化を目指して、回生電力貯蔵装置などの環境にやさしい設備の導入を進めてまいります。



## 環境方針

### 基本的な考え方

#### ■企業の社会的責任の一環として、

##### グループ環境経営を推進

当社では、2000年11月に環境基本方針を制定し、環境法令遵守をはじめ、各事業の特性に応じた省エネルギー化や廃棄物削減、資源リサイクル、環境教育の実施などを積極的に推進してきました。その後、環境保全は京王グループ共通の課題であるとの認識から、2004年12月に「京王グループ環境基本方針」を制定しました。グループ社員一人ひとりが環境方針の内容、なかでも自分の業務に関わりがある項目について十分理解し、仕事に活かしていけるよう、環境マネジメントシステム(EMS)の継続的運用を通じて浸透を図っています。



#### 京王グループ環境基本方針

私たちは、「環境にやさしく」というグループ理念に基づき、環境問題を地球規模で考え、持続的発展が可能な社会の実現を目指して、環境保全に配慮した事業活動を行います。

1. 地球温暖化防止のため、エネルギーの効率利用に努めます。
2. 循環型社会実現のため、廃棄物の削減、リサイクルおよび適正処理を図るとともに汚染の予防に努めます。
3. 環境に関する法令、条例、協定などを遵守します。
4. 地域社会との調和を目指し、騒音、振動の抑制ならびに緑化活動の推進に努めます。
5. より良い環境の実現に向けて、地域や社会の環境保全活動に積極的に参加します。
6. 従業員一人ひとりの環境意識向上を図るため、啓蒙・教育活動を実施します。
7. これらの環境保全活動を推進するため、鉄道をはじめとするすべてのグループ会社の事業活動において環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に取り組みます。

2004年12月9日制定

#### 生物多様性行動指針

私たちは、生活に身近な事業を展開していくなかで、自然の恩恵を継続的に享受していることを認識し、持続可能な利用や自然と共生する社会の実現に向け、生物多様性に配慮した事業活動を行います。

1. 事業活動がおよぼす環境への影響把握  
事業活動と生物多様性とのかかわり(恵みと影響)を把握するように努め、取り組みの必要性に対する認識を高めます。
2. 自然環境の確保と保全  
事業活動における自然環境への影響の回避または低減に取り組むとともに、緑化を推進し、地域の豊かな自然環境の確保と保全に努めます。
3. 資源循環の推進  
資源の利用が生物多様性におよぼす影響を低減するために、グリーン購入など環境に配慮した調達や3R活動(リデュース・リユース・リサイクル)を推進し、環境負荷低減に努めます。
4. ステークホルダーと連携した生物多様性の保全  
従業員をはじめ、取引先企業、お客様など多くのステークホルダーと連携し、情報の発信と収集を行いながら生物多様性の保全に努めます。

2010年9月8日制定



環境方針概念図

環境保全の推進

低炭素社会

- 電力の削減
- CO<sub>2</sub>排出量削減
- 再生可能エネルギーの活用

循環型社会

- 資源の有効活用

自然共生社会

- 生物多様性の取り組み
- 沿線の緑化
- 環境教育プログラムの取り組み

環境マネジメント

- 推進体制
- 監査・教育
- 環境コミュニケーション
- 環境負荷の把握
- 環境会計



# 低炭素社会を目指して

## 鉄道

### ■中期環境目標

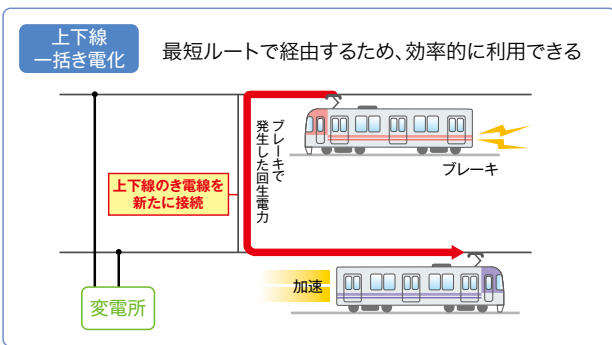
#### 電車の運転用電力を1960年代比で45%削減

鉄道で消費する電力は、電車の運転に使用する電力と、駅施設(照明、昇降機、空調設備など)や保安設備(踏切、信号機など)などに使用する付帯電力に大別できます。

当社では、このうち電車の運転に使用する電力について、最も有効な施策である車両のVVVFインバータ制御化を積極的に進めており、省エネルギー化を推進することで、回生ブレーキとあわせて2014年度における運転原単位(1車両1km走行あたりの消費電力量)を1960年代比で45%削減することを目標としていましたが、2012年度に達成しました。

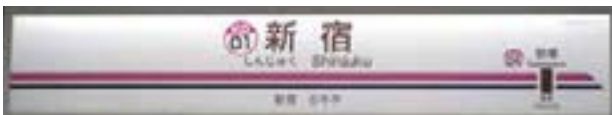
### ■上下線一括き電化

上り線と下り線のき電線(電車に電気を供給する線)を接続することで、回生ブレーキで発生した電気を他の電車に最短ルートで送り、電気を送る際の損失低減を図ることができる装置です。2012年に井の頭線で整備しました。



### ■高効率な案内看板/空調システム

駅構内の案内看板などに、蛍光灯と比べて消費電力を大幅に抑えられるLED照明やインバータ方式の高効率照明の導入を進めています。また、地下駅に高効率空調システムの導入を進めています。



省電力型案内看板

### ■駅設備の電源・運転自動制御

照度センサーやタイマーによる照明の自動制御導入を推進しています。また、人感センサーによりお客様が近づくと電源が入る自動券売機、自動運転するエスカレーターなどの設置も進めています。

### ■自然採光

ホームやコンコースの屋根に自然採光の工夫を行うことで、照明の消灯に努めています。



自然採光の屋根(永福町駅)

### ■環境に配慮した鉄道現業の事務所

2013年に、高幡不動駅の敷地内に太陽光発電システムなど13種類の環境に配慮した設備を組み合わせ活用した、鉄道現業の事務所(高幡不動乗務区・施設管理所)を開設しました。従来の施設と比べて、約30%の省電力と節水を実現しています。



高幡不動乗務区・施設管理所



## バス・タクシー・トラック

### ■京王電鉄バスグループ環境配慮型ビル

京王電鉄バスグループが府中市に建設した京王府中晴見町ビル(本社・営業所)には、冷暖房効率を高めるペアガラスや消費電力の低いLED照明を取り入れています。また、建物壁面および屋上を緑化しており、環境にやさしい建物になっています。



京王府中晴見町ビル

### ■電気(EV)・ハイブリッド(HV)バス

西東京バスでは、羽村市から運行を受託しているコミュニティバス「はむらん」において、定期路線バスでは日本初となる小型EVバスによる運行を2012年3月から開始しています。

また、京王電鉄バスグループ・西東京バスでは、2013年から最も負荷のかかる発進時はモーター動力のみで駆動して燃費を抑え、減速時は高性能リチウムイオンバッテリーがエネルギーを効率よく回収するシステムを採用したHVバスを一部路線で導入しています。



HVバス

### ■ハイブリッド(HV)タクシー・アイドリングストップ車

京王自動車では、タクシーにHV車やアイドリングストップ車を導入し、エネルギーの効率利用に取り組んでいます。



HVタクシー

### ■エコドライブ

デジタルタコグラフ\*やエコドライブ管理システムの導入や、社員への教育を実施するなど、燃費向上に向けた取り組みを行っています。

\*デジタルタコグラフ:速度とエンジン回転数を数値化して記録する装置です。

### ●京王電鉄バスグループ

デジタルタコグラフを全車両に導入しています。また、乗務員のエコドライブ教育を実施しています。

### ●西東京バス

デジタルタコグラフを全車両に導入しており、データに基づく乗務員への個別指導を実施しています。

### ●京王自動車

タクシー全車両にエコドライブ管理システムを導入し、急発進・急加速・急停車の有無やアイドリング時間を数値化して、乗務員の指導に活かしています。

### ●京王運輸

「エコドライブ講習会」「省燃費運動」などを通じて、燃費向上に向けた運転者の意識啓発に取り組んでいます。また、一般社団法人東京都トラック協会主催「グリーン・エコプロジェクト」や公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団認定の講習会などの外部セミナーにも積極的に参加しています。



走行管理表に記入



## 商業施設・オフィス・住宅

### ■ 中期環境目標

#### 東京都の基準(8%)を超える12%のCO<sub>2</sub>排出量削減

東京都環境確保条例の対象となる大規模8物件<sup>\*1</sup>では、基準値<sup>\*2</sup>に対し2010年度～2014年度に年平均8%のCO<sub>2</sub>削減義務が課せられています。

当社では、空調設備・ボイラーの高効率化、照明のLED化等の省エネルギー施策の推進や節電運用を図り、2012年度(単年度)の目標として、基準値に対し12%の削減を掲げていましたが、目標を上回る19%の削減を達成しました。

2010～2013年度の4カ年においても、東京都のCO<sub>2</sub>削減義務を上回る年平均17%の削減を達成しました。来年度以降もこの結果を継続できるように努め、東京都の削減義務を達成できるように目指します。

### ■ LED照明導入

当社およびグループ各社では、ショッピングセンター・オフィス・ホテルなどの施設において、LED照明を積極的に導入しています。



LED照明を導入した京王ストア店舗

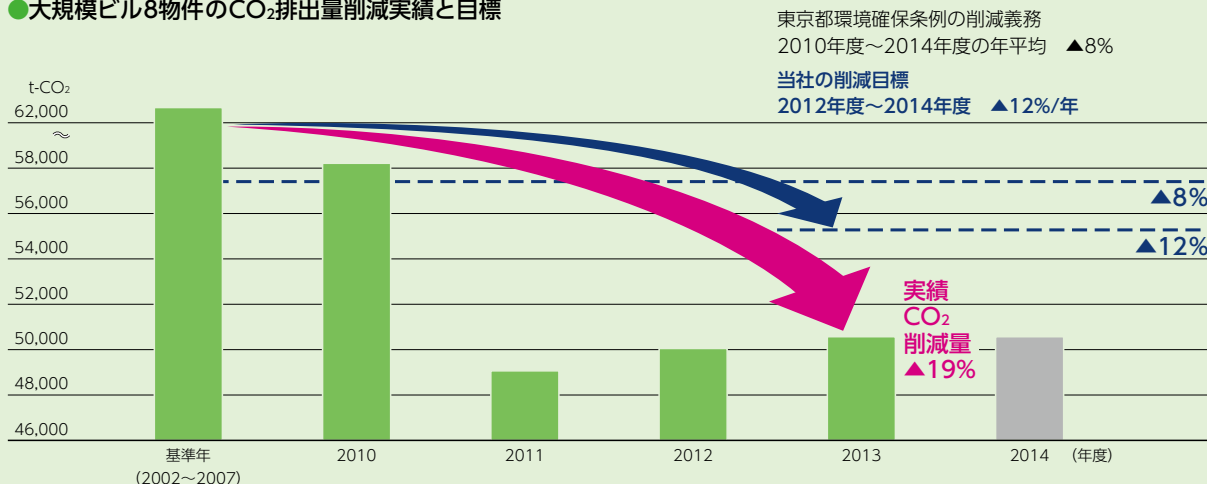
### 京王ストア

営業本部 営業企画部 店舗開発担当課長 中川 太郎



当社では2011年から順次、店内照明のLED化を積極的に推進し、現在では全31店舗中24店舗(※2013年12月時点)のLED化が実現しています。導入以前は、蛍光灯の球切れや、節電による消灯など、良好な売場環境の維持に苦労したり、球交換の作業に時間がかかっていました。寿命の長いLED照明へ切り替えたことで、作業頻度が大幅に軽減されたほか、売場環境の改善とともに使用電力の削減につながっております。

### ● 大規模ビル8物件のCO<sub>2</sub>排出量削減実績と目標



※1 京王プラザホテル新宿、京王プラザホテル八王子、京王プラザホテル多摩、京王品川ビル、京王八王子明神町ビル、京王百貨店新宿ビル、京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター、京王八王子ショッピングセンター

※2 「基準値」とは、2002年度～2007年度のうち任意の連続した3カ年におけるCO<sub>2</sub>排出量の平均値をいいます。





低炭素社会を目指して

■京王プラザホテル(新宿)の屋上緑化

環境に配慮し、2008年に本館7階の約1,000㎡を屋上緑化しました。ホテル施設ならびに周辺高層ビルからの景観向上およびヒートアイランド抑制効果を図ります。



屋上緑化

■IKE NOUE04

池ノ上駅改札階から直結の当社の賃貸住宅「IKE NOUE04」が、2013年7月に竣工しました。渋谷、新宿までのアクセスの良さと下北沢駅徒歩圏内という立地を生かし、ファッション、デザインなどのクリエイターが集うSOHOスタイルの集合住宅がコンセプトで、駅のホームから見える建物壁面を緑化しています。



IKE NOUE04

■新電力会社(PPS)\*の活用

当社賃貸物件の一部、車両工場、本社ビルでは2013年4月以降、新電力会社(PPS)からクリーンで安定した電気を購入しています。

※PPS:既存の大手電力会社である一般電気事業者とは別の、特定規模電気事業者(PPS:Power Producer and Supplier)のことで、一般電気事業者が有する電線路を通じて電力供給を行う事業者を指します。

■Hi-ROOMS新代田の省エネ設備

京王の空間志向賃貸住宅「Hi-ROOMS」シリーズ8棟目となる「Hi-ROOMS新代田」が2013年2月に竣工しました。本物件は、1LDK全16戸で、当社として初めて導入したHEMS\*や全照明のLED化など環境に配慮した賃貸住宅となっています。

※HEMS (Home Energy Management System): WEB上で電気・ガスの使用量を見られるエネルギー管理システムです。



Hi-ROOMS新代田

再生可能エネルギーの活用

京王グループでは、再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組んでいます。

発電種類	活用事業所
太陽光発電	芦花公園駅
	永福町駅
	京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター
	京王電鉄バス桜ヶ丘営業所
	京王れーるランド
	高尾の森わくわくビレッジ
	高幡不動 現業事務所(乗務区・施設管理所)
	高幡不動車両基地
	明大前駅
	若葉台駅
風力発電	高尾の森わくわくビレッジ
発電床®	京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター

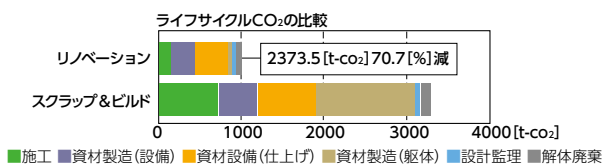


# 循環型社会を目指して

## 資源の有効活用

### ■環境負荷を低減した「リノベーション事業」を展開

既存の建築物をリニューアル・再生し、魅力ある住宅を供給するリノベーション事業は、限られた資源を有効に使いCO<sub>2</sub>排出量を削減する、地球環境にやさしい手法です。リビタが手がけた「リノア多摩川CORTE」では、省エネルギー改修を行うことで、ライフサイクルCO<sub>2</sub><sup>※1</sup>を70%削減したほか、廃材発生量<sup>※2</sup>を91%削減することができました。



※1 ライフサイクルCO<sub>2</sub>とは、建物の建設から運用、解体までのライフサイクルを通じて排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の量を指します。

※2 廃材発生量とは、建物を解体した場合に発生する材料を指します。建物が与える地球温暖化への影響を評価する指標です。

### ■車両洗車時の節水

若葉台工場では、車両や部品の洗浄などに用いる水の使用量を削減するため、「処理水再利用装置」を導入しています。この装置で、使用済みの水の汚れを取り除き、洗浄水などに再利用しています。現在、洗浄に用いる水の約40%はこの装置により処理されたものです。

また、車両洗浄に使用する水を従来と比べて約50%削減できる車両洗浄装置を導入しています。



節水型車両洗浄装置

### ■エコバッグ・レジ袋削減

京王百貨店では、エコバッグを販売してお客様にマイバッグご持参の呼びかけを行っています。なお、収益は公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」に寄付しています。また、京王ストアでは、レジ袋をご辞退いただくと、2円引きのサービスを行っています。



京王百貨店  
オリジナルマイバッグ

### ■ECOステイ

京王プレッソインでは、環境保護の一環として「ECOステイ」を推奨しています。「ECOステイ」は連泊のお客様を対象に、申し出いただくと、タオルやシーツを交換せずに清掃を行い、クリーニングの回数を減らして水資源保護・CO<sub>2</sub>排出削減を図るものです。また、ご協力いただいたお客様には、ミネラルウォーターなどをプレゼントしています。



京王プレッソイン



### ■鉄道車両

京王線・井の頭線を走っていた電車が、色やデザインを変えて現在でも全国各地の鉄道で活躍しています。



旧井の頭線3000系(上毛電気鉄道株式会社)



循環型社会を目指して

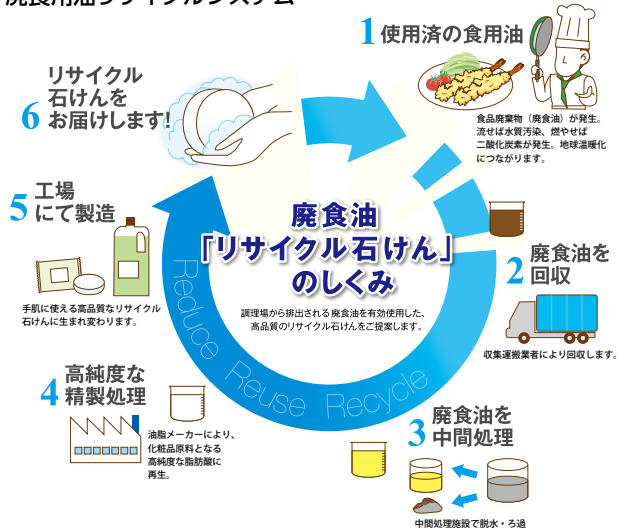
■廃食用油のリサイクル

(京王グループ6社)

京王グループ6社\*は、レストランなどから排出した廃食用油を、石けんにリサイクルしています。2013年度は52事業場から約210tの廃食用油を回収、有効利用しました。

※京王電鉄、京王百貨店、京王リテールサービス、京王プラザホテル、京王レクリエーション、レストラン京王

廃食用油リサイクルシステム



廃食用油を石けんにリサイクル

■きっぷのリサイクル

1999年から、各駅で回収された使用済みきっぷをリサイクルし、全駅のトイレトーパーとして使用しています。



■京王百草園の竹灯籠

京王百草園では、園内にある竹林から孟宗竹（モウソウチク）を間引きし、その竹を加工しロウソクを入れた灯籠を紅葉が美しい時期に灯すイベントを開催しています。



園内の竹灯籠

京王電鉄

京王百草園 副所長 水村 久人

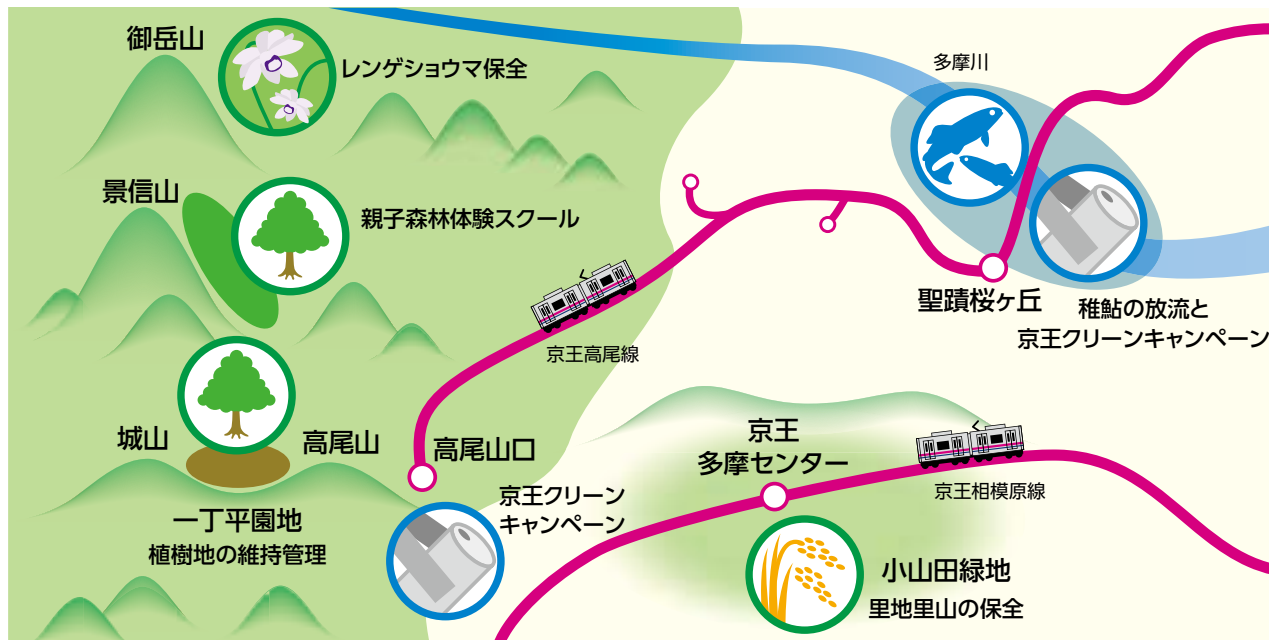


園内に自生している竹が灯籠に姿を変えて夜の百草園に幻想的な揺らめきを与え、毎年多くのお客様からご好評をいただいています。他にも園内の梅の実を使った食品を味わえたり、植物から採れる色素で染物体験イベントを開催するなど、園内の資源を有効活用してお客様にお楽しみいただけるよう日々工夫しています。



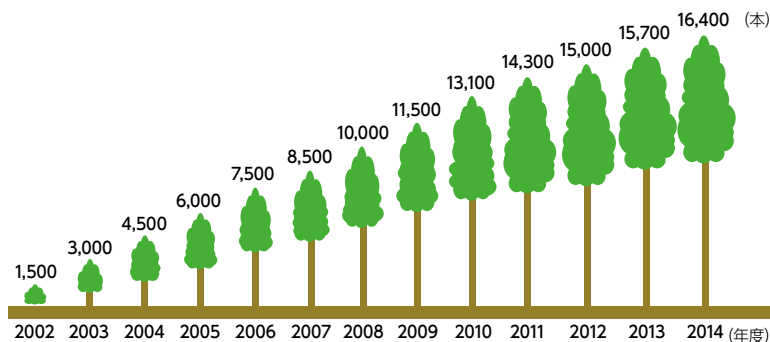
# 自然共生社会を目指して

## 生物多様性の取り組み



### ■ 継続的に植樹活動を実施

京王グループは、2002年から13年間にわたって、公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」が、裏高尾(小下沢国有林)で行う森林再生活動を支援しています。2014年までに、累計16,400本の樹木を提供しました。



13年間で16,400本の苗木を提供

### ■ 種子から育てる苗木プロジェクト

公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」と京王グループが植樹する苗木を地元の小・中学校とともに育てる「種子から育てる苗木プロジェクト」を2013年から開始しました。

八王子市立城山小学校を訪問し、児童との種植えをはじめ当社社員による授業、里山に暮らす生き物の痕跡展示、森林作業の道具説明などを行っています。



種植えの様子



授業の様子



自然共生社会を目指して

■植樹地の維持管理

京王グループ社員と公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」とが連携し、高尾山エリア（一丁平園地）などの下草刈りを行っています。



下草刈りの様子

■高尾の森 親子森林体験スクール

森林再生活動を支援している裏高尾（小下沢国有林）において、春と秋に「高尾の森 親子森林体験スクール」を開催しています。このスクールは小学4年生～中学3年生のお子様と保護者の方40名を募集し、植樹や下草刈り作業の体験、植物や水生生物の観察など自然との触れ合いを通じて森の大切さを学びます。



高尾の森  
親子森林体験  
スクール

高尾の森づくりの会

代表 河西 瑛一郎 様

公益社団法人日本山岳会「高尾の森づくりの会」は、2000年の創立当時から京王電鉄より応援を受けています。創立当時の会員は25名ほどでしたが、現在は200名強となり年間の活動日数は150日を超え、この14年間での延べ参加者数は4万人を優に超える規模となりました。将来的には、高尾地区の国有林を100年かけて「お手本となるような美しい人工林」



の森を作り上げるため、京王電鉄をはじめとした地域社会とともに汗を流して行きたいと思えます。

■京王グリーンキャンペーン(高尾山・多摩川)

1991年から沿線地域の環境保全を目的に、毎年高尾山と多摩川の清掃活動を行っています。この取り組みは、京王グループ社員をはじめ、地域の皆様にも参加いただけるよう、駅や電車内のポスター、京王ホームページ、京王ニュースなどで呼びかけています。

2014年5月には、聖蹟桜ヶ丘駅付近の多摩川で約2.2kmにわたって実施し、一般のお客様と京王グループ社員あわせて1,123人が参加しました。稚鮎の放流体験では、中学生以下の200人以上が参加し、稚鮎約1,000匹を放流しました。



京王グリーンキャンペーン(高尾山)



稚鮎放流体験の様子

■レンゲショウマ保全

御岳登山鉄道は、御岳山に群生し絶滅危惧種に指定されている山野草「レンゲショウマ」の保全活動として、みたけ山観光協会などと協力し、群生地での下草刈りやハイキングコースの整備を行っています。また、夏の開花時期にあわせて「レンゲショウマまつり」やガイドと共に歩くハイキングイベントを毎年開催しています。



レンゲショウマハイキング

レンゲショウマ



## 自然共生社会を目指して

### ■里地里山保全

京王沿線の多摩丘陵には桜ヶ丘公園や長沼公園、小山田緑地、丘陵に入り込んだ谷戸をはじめ里地里山の風景や自然が点在し、少し足をのびた加住丘陵にも同様の風景が残っています。多摩の丘陵の里地里山は、いわば自然の博物館であり、そこには豊かな緑があり、貴重な動植物に出会え、歴史を伝える史跡があり、自然と共生していたかつての生活もうかがい知ることができます。



散策マップ

京王グループではこの里地里山の素晴らしさを知っていただくために、散策マップの作成や田んぼの保全活動を通じ、日本の原風景である里地里山の保全に協力しています。



小山田緑地の田んぼの保全活動

### 公益財団法人東京都公園協会

「多摩丘陵」グループ統括係長 定秀 葉子 様

京王沿線の多摩丘陵に位置する小山田緑地には、里山風景の象徴とされる田んぼが広がります。この田んぼでは、近隣の小学生や保護者を対象に稲作の体験の場を提供しており、里山の文化を伝える貴重な環境教育の場となっているほか、生態系の保全にも役立っています。

京王電鉄には、田んぼでの稲作体験参加や多摩丘陵の公園緑地の広報活動に関わっていただきました。貴重な里山風景を守る大切さを一人でも多くの方々に知っていただく機会となり、大変感謝しています。



### ■沿線の緑化

#### ■線路脇の緑化

1991年から、線路脇の雑草には除草剤を使わず、人の手による草刈りを行っています。また、降雨による法面の崩壊を防ぐとともに、お客様に沿線風景を楽しんでいただくことを目的として、井の頭線を中心に線路脇へアジサイ・ツツジ・サザンカなどを植栽し、緑化を進めています。この取り組みは、「杉並『まち』デザイン賞」を受賞しました。



線路脇の緑化

#### ■屋上庭園「ふくにわ」

2011年3月にオープンした「京王リトナード永福町」には、地域の方の憩いの場として屋上庭園「ふくにわ」を併設しています。サクラ・キンカン・ユズなど季節の木々や草花が香るこの庭園は、環境省が主催する「2010年度『みどり香るまちづくり』企画コンテスト」に入賞しました。



屋上庭園「ふくにわ」



## 環境教育プログラムの取り組み

### ■自然!はっけん!エコキャンプ

2006年から体験学習施設「高尾の森わくわくビレッジ」において、夏休みに小学生を対象とした1泊2日のキャンプを実施しています。キャンプには社員がボランティアで参加し、グループリーダーとして子どもたちの生活をサポートしています。



植物観察



テント設営



竹材を使った工作



自然についての学習



野外炊さん



キャンプファイヤー



# 環境マネジメント

## 推進体制

当社では、本社をはじめ鉄道現業を含めたすべての職場において、国際標準規格ISO14001に準じたEMS（環境マネジメントシステム）に取り組んでおり、その活動は環境経営協議会にて経営層へ報告・承認を受けています。また、京王グループ社長会を通じてグループ各社に環境マネジメントを徹底しています。

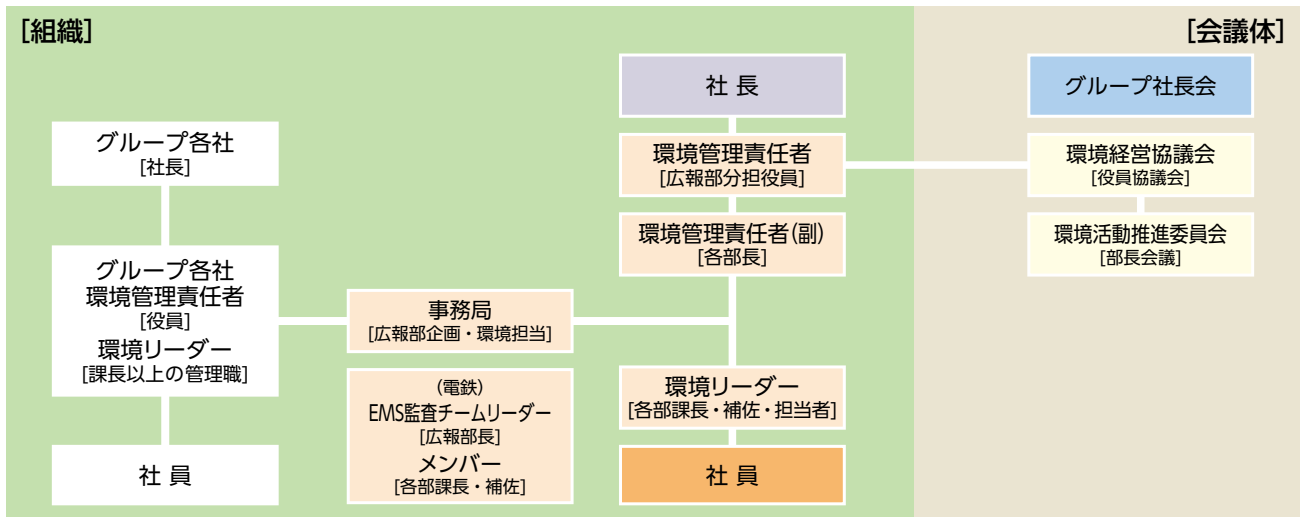
10回目のPDCAサイクルとなる2014年度も引き続き、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現に向けたレベルアップに努めています。

グループ会社では、ISO14001を4社、グリーン経営を6社で認証取得しています。その他の各社は、ISO14001またはエコアクション21に準じてEMSに取り組んでいます。特殊車両の設計製作を行う東京特殊車体は、2013年3月に京王グループ初となるエコアクション21認証を取得しました。



京王グループ社長会

### 京王グループEMS推進体制



## 京王グループ各社のEMS構築状況

分類	会社名
ISO14001	<b>認証取得(4社)</b> ●京王設備サービス ●京王建設 ●京王地下駐車場 ●京王エージェンシー
	<b>準拠した活動(8社)</b> ●京王電鉄 ●京王百貨店 ●京王ITソリューションズ ●京王アカウンティング ●京王ビジネスサポート ●京王ユース・プラザ ●京王子育てサポート ●京王ウェルシステージ
グリーン経営認証	<b>認証取得(6社)</b> ●京王電鉄バス ●京王バス東 ●京王バス中央 ●京王バス南 ●京王バス小金井 ●京王運輸
エコアクション21	<b>認証取得(1社)</b> ●東京特殊車体
	<b>準拠した活動(24社)</b> ●西東京バス ●京王自動車 ●京王ストア ●京王書籍販売 ●京王リテールサービス ●京王パスポートクラブ ●京王アートマン ●京王食品 ●京王グリーンサービス ●京王不動産 ●リビタ ●京王プラザホテル ●京王プラザホテル札幌 ●京王プレッソイン ●京王観光 ●京王レクリエーション ●レストラン京王 ●京王重機整備 ●京王シンシアスタッフ ●エリート ●京王友の会 ●京王コスチューム ●新東京エリート ●御岳登山鉄道





## 監査・教育

### EMS内部監査

当社はEMSの有効性と社員の自覚を確認するため、毎年各部管理職1人以上のEMS監査員を選出し、新任監査員は有限責任監査法人トーマツによる専門教育を受けた後、部署間相互による内部監査を実施しています。

### 環境教育

環境意識やEMS理解度の向上など必要性を明確にした上で、体験を重視した環境教育を実施しています。

### 主な教育実績(2013年度)

名称	時期	対象	人数
京王 クリーンキャンペーン	5月 (10月中止)	グループ社員、一般	737名
自然!はっけん! エコキャンプ	8月	グループ社員、一般	70名
EMS監査員養成研修	10月	新任監査員	6名
廃棄物管理勉強会	11月	グループ実務担当者	82名
廃棄物処理施設視察会	3月	グループ実務担当者	23名

## 環境コミュニケーション

### 環境・CSRポスター

京王グループの社会・環境活動を紹介するポスターを制作し、お客様とのコミュニケーションを図っています。「高尾の森わくわくビレッジ」、「京王クリーンキャンペーン」などの活動を取り上げ、お客様からのご意見をいただけるように駅の「京王PRボード」に掲示しています。



移動販売



京王クリーンキャンペーン



京王キッズおしごと隊



高幡不動乗務区・施設管理所



高尾の森わくわくビレッジ



京王音楽祭



リビタ



ボランティア・プラザ



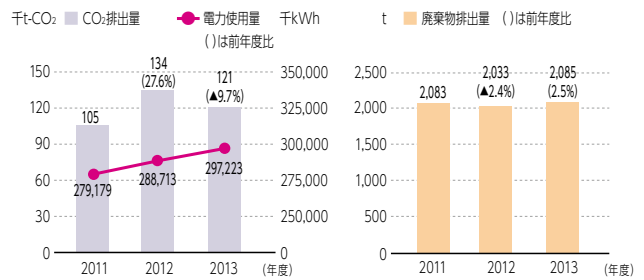
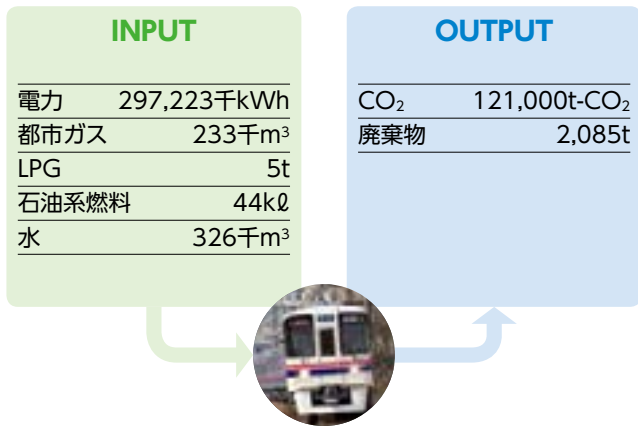
環境マネジメント

環境負荷の把握

当社には「鉄道事業部門」、土地・建物の賃貸・販売を行う「開発事業部門」、会社全般の管理業務を行う「一般管理部門」があります。それぞれの事業特性に応じて、資源の使用(インプット)とCO<sub>2</sub>・廃棄物の排出(アウトプット)を定量的に把握し、企業活動に役立てています。

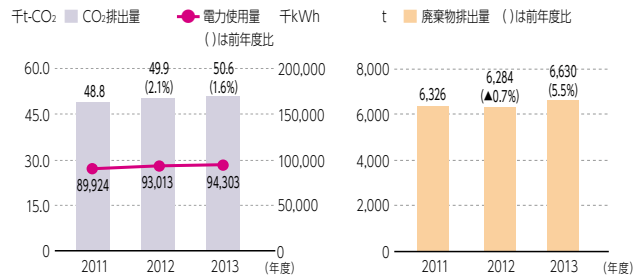
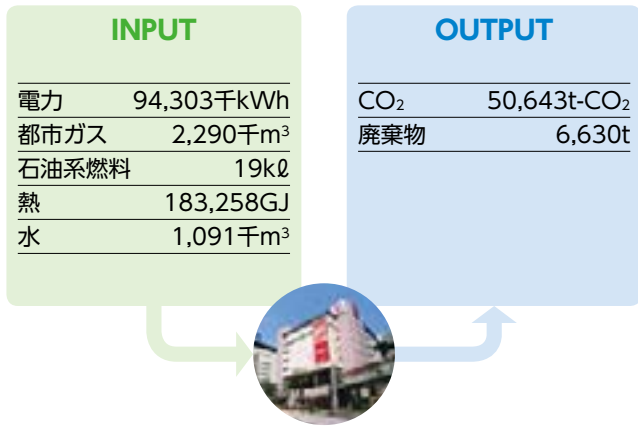
2013年度の環境負荷のレビュー

鉄道事業部門



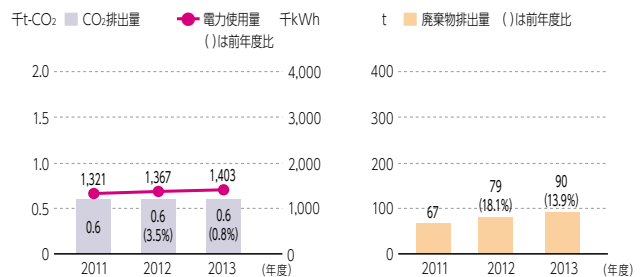
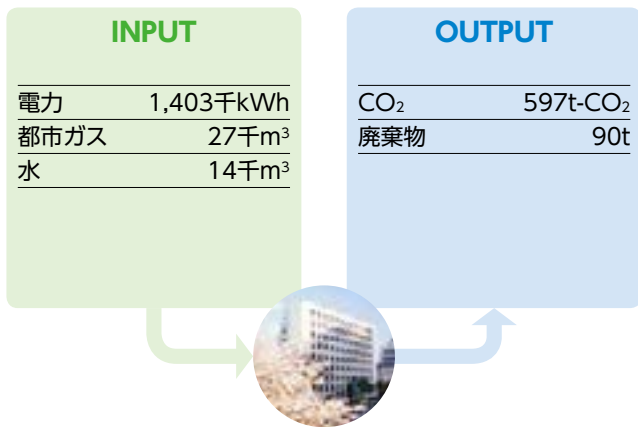
集計対象は、電車の運行、駅および現業事務所です。CO<sub>2</sub>排出量は前年度に比べ、9.7%減少しました。

開発事業部門



集計対象は、東京都環境確保条例に基づく大規模8事業所です。CO<sub>2</sub>排出量は前年度に比べ、1.6%増加しました。

一般管理部門



集計対象は、本社ビルおよび福利厚生施設です。CO<sub>2</sub>排出量は前年度と同水準(0.8%増加)でした。



## 環境会計

環境保全に向けて、2013年度は約53億円の環境投資・費用を行使しました。

当社は、環境負荷の低減に向けて、列車の騒音振動防止や、駅施設やオフィスビル・店舗などへの高効率照明をはじめとした環境配慮設備の導入による省エネルギー化、廃棄物の分別・リサイクルなどのレベルアップに向けて、環境投資を継続しています。

2013年度は、連続立体交差事業の進捗に伴い工事のピークを超えたことや、鉄道車両のVVVFインバータ制御化完了にとともに対前年で投資額が減少したことなどにより、環境投資・費用についても全体で前年度比21.1%の減少となりました。

### 2013年度の環境保全コスト(投資・費用額)

(単位:百万円)

内容	主な取り組み	具体的内容	投資	費用
<b>(1) 事業エリア内コスト</b>			3,289	1,939
① 公害防止コスト	●騒音振動防止 ●大気汚染防止 ●水質汚濁防止	○連続立体交差化 ○ロングレール更换 ○草刈 ○低VOC塗料 ○分岐器床板更换	1,856	667
② 地球環境保全コスト	●省エネルギー化 ●モーダルシフト ●オゾン層破壊防止	○空調機更新 ○照明器具高効率化 ○ホームドア設置 ○エレベーター新設 ○ノンフロン空調機更新	1,110	165
③ 資源循環コスト	●廃棄物減量 ●廃棄物処理・処分 ●廃棄物リサイクル	○PASMO*関連費用 ○駅清掃費 ○車両清掃費 ○廃切符リサイクル ○本社ビル清掃・リサイクル	323	1,107
(2) 管理活動コスト	●景観保持 ●自然保護・緑化 ●教育・啓発	○植栽管理 ○環境アセスメント ○高幡不動産現業事務所 ○環境報告書制作 ○環境啓発ポスター制作	32	92
(3) 社会活動コスト	●自然保護・緑化 ●環境保全の寄付 ●社会的取り組み	○京王クリーンキャンペーン ○植樹活動・支援 ○親子森林体験スクール ○自然観察イベント	0	8
<b>合計</b>			3,321	2,039
<b>コスト総計</b>			5,360	

\*PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。

#### 【対象期間】

2013年4月1日～2014年3月31日

#### 【対象範囲】

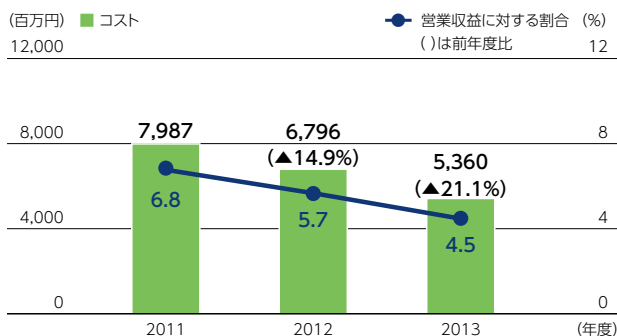
当社の鉄道事業部門、開発事業部門、一般管理部門で発生した環境保全コストを対象としています。

(京王グループ各社で発生したコストは含んでいません)

#### 【算定基準】

- 「環境省環境会計ガイドライン(2005年版)」および「民鉄事業環境会計ガイドライン(2008年版)」を参考に集計しています。
- 環境保全コストとして確実に把握したもののみ計上しています。
- 減価償却費は計上していません。

### 環境保全コストの推移



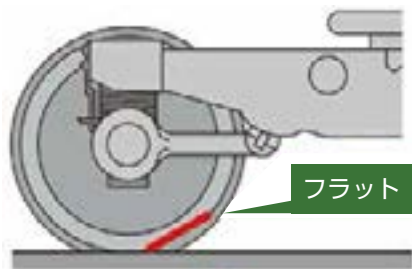


環境マネジメント

周辺環境への配慮

電車の走行音の低減

車輪の振動を自動的に検出するセンサーを京王線・井の頭線に各1カ所設置し、車輪のフラットによる騒音・振動を早期に発見・改善しています。



雨天時などのブレーキ中に車輪がロックしてレール上を滑ると平らな部分(フラット)ができ、騒音・振動のもとになります。



フラットによって生じる車輪の振動を自動的にセンサーで検知し、すぐに車両基地へデータが転送されます。



車輪の削正

車両基地で車輪の削正や交換を行いフラットをなくし、騒音・振動・乗り心地を改善します。

鉄桁防音対策

桁が鉄製の橋梁においては、下面および側面に防音材を、また、レールとまくら木の間に防振タイププレートを設置し、騒音・振動の低減に努めています。

ロングレール化

1本が200m以上の長いレールを使用し、レールの継目箇所を少なくすることで、列車の騒音や振動が減り、乗り心地も向上します。これまでに、曲線半径400m以上の敷設可能区間は、長大橋梁を含めロングレール化を完了しています。

清掃用シンナーの回収

若葉台工場では、台車や車体を清掃するロボットの清掃時に排出されるペンキが混ざったシンナーから、シンナーを分離・回収する「溶剤再生装置」を導入しています。

TOPICS

京王栽培研究所

京王線狭間駅前に建設された植物工場「京王栽培研究所」では、安心・安全で美味しい野菜や果物の栽培・研究を行っています。太陽光を利用したガラスハウスではトマトやいちご、メロンなどを栽培し、完全密閉されたクリーンな空間の人工光型植物工場では、LEDや蛍光灯を活用して、ベビーリーフやリーフレタスなどを栽培しています。温度や湿度、光の加減などのデータを分析して、植物の生育に最適で効率的な栽培方法を研究しています。



ガラスハウスでの栽培



人工光による栽培風景



## 今後について

当社では、持続的発展が可能な社会の実現を目指して制定した「京王グループ環境基本方針」に基づき、「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の構築に向け、環境マネジメントによる継続的な改善に取り組んでいます。

鉄道事業では、さらなる省エネルギー化に向けた取り組みとして、鉄道回生電力の利用効率向上を図るため、特集で紹介した回生電力貯蔵装置や駅舎補助電源装置などの導入を進めます。また、車両等の他社売却譲渡など鉄道資材の再利用を引き続き実施します。

また、リビタによるリノベーション事業の拡大展開を図るほか、京王ストアでのマイバッグ運動によるレジ袋辞退の推進にも取り組みます。

生物多様性施策としては、東京都公園協会と連携した里地里山の保全活動、京王の電車・バス開業100周年を記念して植樹を行った高尾山エリア(一丁平園地)の継続整備にも取り組んでいきます。

### 具体的な取り組み事例



# コーポレート・ガバナンス体制

## 京王グループとのつながり



## 京王グループ 理念

私たち京王グループは、  
つながりあうすべての人に誠実であり、環境にやさしく、  
「信頼のトップブランド」になることを目指します。  
そして、幸せな暮らしの実現に向かって  
生活に溶け込むサービスの充実に日々チャレンジします。

2003年1月1日制定

## 京王グループ スローガン

あなたと あたらしい あしたへ —— 京王グループ

### 京王グループ 行動規範

「信頼のトップブランド」になるため、私たちは以下のとおり行動します

#### 企業活動を通じて社会に貢献します

- お客様の幸せな生活に資する商品・サービスを提供します
- 常に商品・サービスの品質、安全性の向上を追求します
- 適時適切な情報開示に努めるとともに、お客様の声を事業活動に活かします

#### 法令・社内規程を遵守し、健全・公正な企業活動を行って、企業価値の向上に努めます

- 全てのステークホルダー（お客様・株主・取引先・社員などの関係者）に対して、相互に適正な利益を確保できるよう互いを尊重します
- 法令を正しく理解し、法令に則った手続きを行うことで、公的機関等と適切な関係を維持します
- 反社会的な組織、人物に対しては断固とした姿勢で臨みます
- 知的財産や情報の取扱いに細心の注意を払います
- 社員個人の権利を尊重し、社員同士が信頼しあえる風通しの良い職場づくりをします

#### 社会の一員としての責任を果たします

- すべての人にやさしい環境づくりを進めます
- リサイクル、省エネなど環境保護に積極的に取り組みます
- 社会に貢献し、社会と共に発展するための活動に取り組みます
- 社会の変化に対応し、よき企業市民であるためのチャレンジをしつづけます

## コーポレート・ガバナンスと内部統制

### 基本的な考え方

「京王グループ理念」に基づき、つながりあうすべてのステークホルダー\*からの信頼を得て、企業価値向上を実現するため、コーポレート・ガバナンスの充実、強化に取り組んでいます。

\*ステークホルダーとは、お客様・株主様・取引先・社員などの関係者、つまり京王グループとつながりあうすべての方々のことです。

### コーポレート・ガバナンス体制

取締役会は社外取締役2名および主要なグループ会社の社長8名を含む18名で構成し、経営上の重要な事項についての決議や業務執行の監督を行うほか、特別取締役を選定し、時機を捉えた迅速な意思決定を行っています。また、取締役会の諮問機関である指名・報酬委員会において役員的人事・報酬について審議し、経営の透明性向上を図るなど、ガバナンス体制の充実に努めています。さらに、グループ経営協議会、

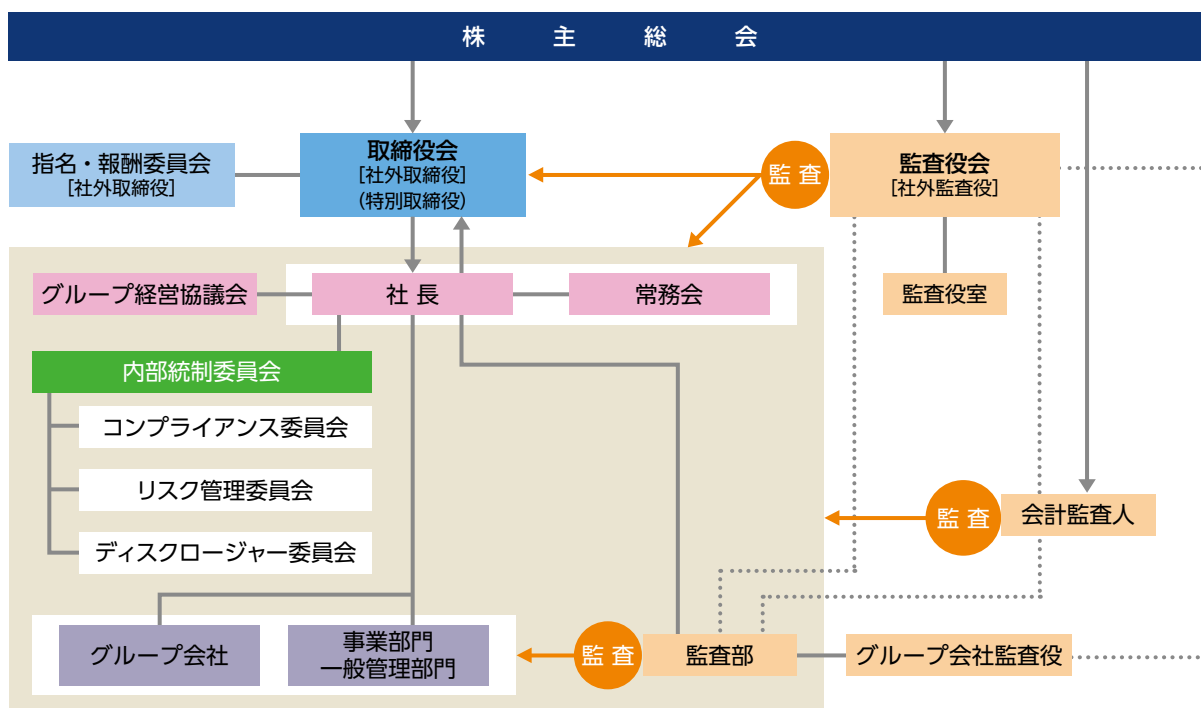
京王グループ社長会を定期的で開催し、グループガバナンス強化にも積極的に取り組んでいます。監査役会は、社外監査役3名を含む4名で構成しています。監査役は監査役会で定めた基本方針に基づき取締役の職務執行の監査を実施するほか、重要な会議での意見陳述などを行います。

### 内部統制システムの強化

京王グループは「信頼のトップブランド」を確立するため、内部統制システムの強化に努めています。

当社は会社法に基づき「京王グループ内部統制システムに関する基本方針」を定めており、当社取締役会はその整備状況を確認・検証し、必要に応じた見直しを行っています。また、内部統制に関する組織や機能を統括するための内部統制委員会を設置しているほか、財務報告に関わる内部統制についても責任部署を設けて京王グループ全社で整備・運用を進めています。

### ●コーポレート・ガバナンス体制



## コンプライアンス

### 基本的な考え方

京王グループにとっての「コンプライアンス」とは、「法令遵守にとどまらず、社会の規範やルールまで含めて遵守することで、社会の期待に応える」ことであると考えています。

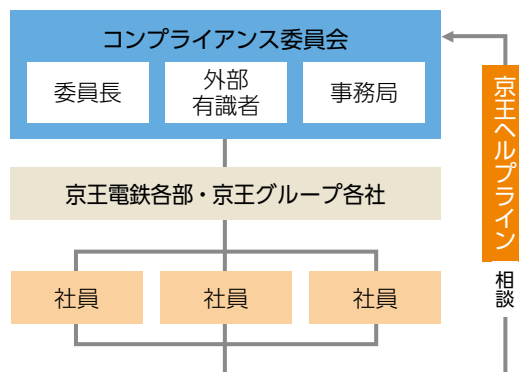
コンプライアンスに取り組むことにより、不祥事の起きにくい風土をつくり、誠実な企業としてお客様や社会から一層の信頼を獲得したいと考えています。

### コンプライアンス体制

京王グループでは、「京王グループ行動規範」を定め、グループ全体に浸透させ、継続的に取り組んでいくため「コンプライアンス委員会」と「京王ヘルプライン」からなる「コンプライアンス体制」を構築しています。

「コンプライアンス委員会」は、委員長、外部の有識者、事務局で構成され、委員長には当社総務法務部分担役員が就き、その諮問機関としての外部有識者（弁護士・会計士など）を置いています。事務局は、当社の総務法務部と広報部が務めています。

### ●コンプライアンス体制



### ヘルプラインの運営

業務に関するコンプライアンス上の疑問を抱いている社員が上司に相談できない場合、身近に相談できる窓口として「京王ヘルプライン」(社内窓口：当社総務法務部、社外窓口：弁護士事務所)を設けています。このヘルプラインは、グループ全社員はもとより、京王グループのお取引先企業で働く方も利用できます。このヘルプラインの運用により、京王グループのコンプライアンス上の問題の早期発見と解決につながっています。

## 2013年度の主な取り組み

### ●コンプライアンス意識の向上施策

「京王グループ行動規範」の浸透を通じた従業員のコンプライアンス意識の向上を図るため、職位や職種に応じたコンプライアンス研修を実施しました。また、当社および京王グループ各社の実務担当者向けに、コンプライアンスに関わるテーマについての各種講習会を実施するとともに、コンプライアンス関連の情報発信を行うことにより、継続的な意識の啓発を図りました。

### ●京王ヘルプラインの周知

京王ヘルプラインの周知を図るため、連絡先や仕組みを明記した「ヘルプラインカード」の配布や研修における周知活動を継続しました。



ヘルプラインカード



## リスクマネジメント

### 基本的な考え方

鉄道事業を中心に企業活動を展開している京王グループでは、「お客様の安全」をリスク対策における最重要課題と認識しています。そのため各種リスクの低減および発生防止を目的とした体制を整備し、京王グループの理念である「信頼のトップブランド」にふさわしいリスクマネジメントを実践することが必要です。

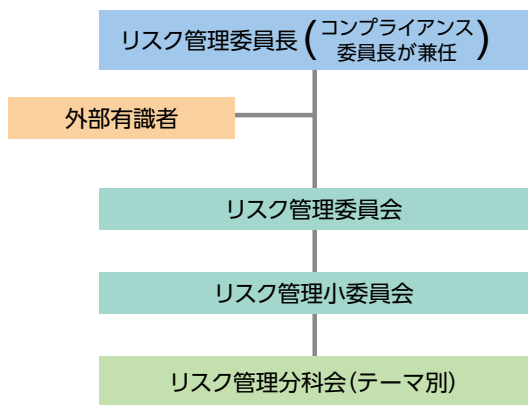
### リスクマネジメント体制

京王グループのリスクマネジメント体制は、平常時の体制と危機発生時の体制の2つからなっています。平常時の体制は、リスク管理委員長のもとリスク管理委員会を定期的開催し、リスク対策重点項目の設定や、リスク対策の実施状況の確認、リスクマネジメントに関する活動報告などを行って

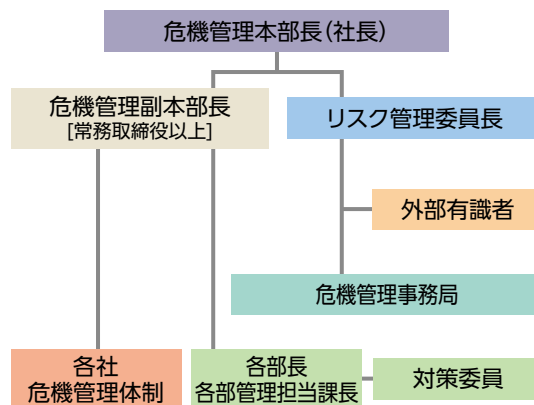
います。

リスク管理委員長は、コンプライアンス委員長が兼任し、コンプライアンスと表裏一体のものとして運営するとともに、リスクマネジメント活動について、コンプライアンスの視点からもチェックしながら推進する仕組みをとっています。この他、「リスク管理小委員会」、「リスク管理分科会」などの組織を持ち、平常時のリスク対策を実効的に行えるようにしています。危機発生時の体制は、速やかな対応を第一とし、当社の社長を本部長とする臨時組織「危機管理本部」設置とともに、常務取締役以上の役員1名を危機管理副本部長とし、リスク管理委員長と危機管理事務局が活動をサポートします。また、京王グループ各社で発生した危機のうち、重大なものについてはグループ各社の危機管理体制と当社内に設置する危機管理本部が一体となって対応します。

#### ●リスクマネジメント体制(平常時)



#### ●リスクマネジメント体制(危機発生時)



## 2013年度の主な取り組み

### ●リスク対策重点項目への対応

前年度に各種リスクの影響度および発生頻度を分析のうえ、リスク対策重点項目に選定された「自然災害」「情報セキュリティ」などのリスクに対して、グループ各社において対応策を実施しました。また、法令の施行などを受けて当社の「新型インフルエンザ等に関する事業継続基本計画書」などを見直しました。

### ●ソーシャルメディア利用ルールの周知

ソーシャルメディア利用上のルールや注意事項を記載した「ソーシャルメディア利用ハンドブック」を用いて、グループ全社を対象にソーシャルメディアの適切な利用に関する研修を開催しました。

京王グループ  
ソーシャルメディア  
利用ハンドブック



# 京王電鉄の概要

## 会社概要 (2014年3月31日現在)

社名	京王電鉄株式会社
会社設立	1948年6月1日
本社所在地	〒206-8502 東京都多摩市関戸一丁目9番地1 (登記上の本店所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目1番24号)
資本金	590億23百万円
従業員数	2,385名
営業内容	<b>〔鉄道事業〕</b> 路線 京王線、高尾線、相模原線、競馬場線、動物園線、井の頭線 駅数 69駅 営業キロ 84.7km 輸送人員 年間6億3,188万人(2013年度実績) 車両数 849両 (貨車5両および総合高速検測車1両を含む) <b>〔開発事業(土地、建物の賃貸業・販売業など)〕</b> 新規賃貸資産の開発 賃貸資産の管理・営業 ショッピングセンターの管理・運営 住宅地等の販売
グループ会社数	全44社

## 京王グループ会社一覧

### 運輸業

- 京王電鉄(鉄道)
- 京王電鉄バスグループ
  - 京王電鉄バス
  - 京王バス東
  - 京王バス中央
  - 京王バス南
  - 京王バス小金井
- 西東京バス
- 京王自動車
- 京王運輸
- 御岳登山鉄道\*

### 流通業

- 京王百貨店
- 京王ストア
- 京王リテールサービス
- 京王書籍販売
- 京王電鉄(ショッピングセンター)
- 京王パスポートクラブ
- 京王アートマン
- 京王食品
- 京王グリーンサービス
- エリート\*
- 京王友の会\*

### 不動産業

- 京王電鉄(開発)
- 京王不動産
- 京王地下駐車場
- リビタ

### レジャー・サービス業

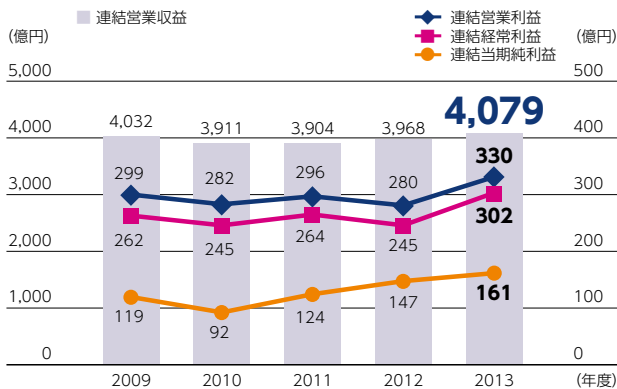
- 京王プラザホテル
- 京王プラザホテル札幌
- 京王プレッソイン
- 京王観光
- 京王エージェンシー
- 京王レクリエーション
- レストラン京王
- 京王コスチューム\*

### その他業

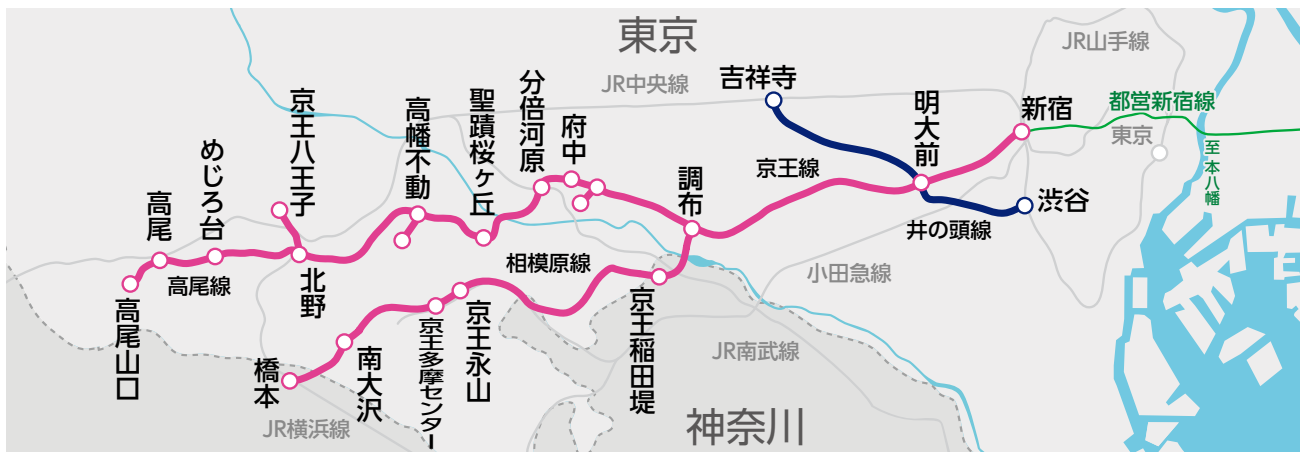
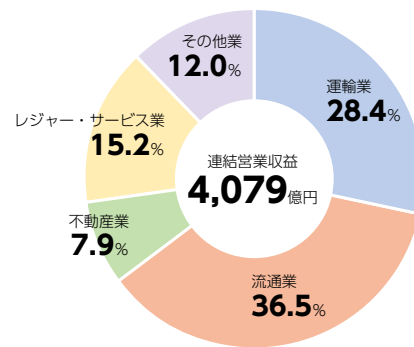
- 京王設備サービス
- 京王重機整備
- 東京特殊車体
- 京王建設
- 京王ITソリューションズ
- 京王アカウンティング
- 京王ビジネスサポート
- 京王ユース・プラザ
- 京王シンシアスタッフ
- 京王子育てサポート
- 京王ウェルシステージ
- 京王フェアウェルサポート
- 新東京エリート\*

\*印は持分法適用会社です。なお、事業セグメント分類上、京王電鉄が重複して含まれています。(2014年9月末現在)

## 連結業績の推移



## 連結営業収益の構成比率



## 第三者意見

本報告書は、当社にとって10回目の発行となります。報告内容や活動の継続的な改善につなげるため、2005年度から、外部有識者の意見をいただいています。



立教大学経営学部教授  
経済学博士

高岡 美佳

全体を通して、「つながりあうすべての人」と共に、京王グループがどのように安全・社会・環境活動を実施しているかがわかりやすく伝えられている良いレポートだと思います。トップメッセージにあるように、京王グループは、「安全風土の醸成、沿線価値の向上、環境保全の推進を通じて『信頼のトップブランド』の確立を目指し」ています。本報告書も安全報告、沿線活性化を含む社会性報告、環境報告の3つのパートに分かれており、それぞれのパートにおいて担当者やステークホルダーの生の声や写真が数多く掲載されており、「顔の見えるレポート」となっている点が特徴です。

輸送の安全の確保は、鉄道事業者がまず第一に果たさなければならない社会的使命です。安全報告では、「『安全』は最大の使命であり、最高のサービスである」という京王グループの方針に基づき2013年度に展開された取り組みが掲載されています。安全管理体制・方法、安全重点施策、2013年度の輸送安全の実態、社員教育、設備面の取り組みなどです。注目すべきは、鉄道を利用する人々と道路を利用する人々の双方の安全性を向上させる線路と道路の立体交差化事業でしょう。すでに2012年度時点で136カ所に減少した踏切数は、現在着手している笹塚駅～仙川駅間の連続立体交差事業が完成すればさらに大幅に減少することになります。立体交差化は、CO<sub>2</sub>削減など環境面にも寄与します。このような京王グループの本業を通じたCSR活動を高く評価したいと思います。

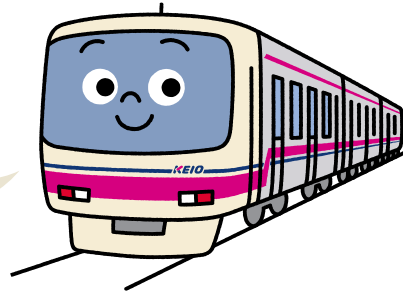
社会性報告のパートでは、特集記事として沿線活性化の取り組みが紹介されています。京王グループでは、かねてより沿線住民のために「生活サポートサービス」を展開していますが、2013年8月に多摩市との間で締結された「地域発展の推進に関する包括連携協定」に基づき開始した生鮮品・日用品の移動販売は、日常の買い物に不便のある方の生活に大いに役立つものでしょう。一人暮らしとなった高齢者の少量の買い物にも対応しますし、何より外出して地域の人と触れ合う良い機会ともなります。その他、社会性報告では、保育施設の運営や各種体験プログラム、文化・スポーツ振興などの取り組みが紹介されています。いずれも、沿線を中心とした地域社会を対象に展開されており、その意味で同グループにとってのマテリアリティ（重要性）は明確となっています。鉄道事業は人々の生活に密着した事業です。同グループならではの地域社会への貢献活動を、今後も進展させていただきたいと思います。なお、社員に関する記述も充実していますが、高齢者再雇用、障がい者雇用、女性管理職、育児休業、介護休業などの経年変化データも記載されていると良いでしょう。

鉄道は自動車に比べて環境負荷の少ない輸送機関ですが、京王グループは、その事実にあぐらをかくことなく、省エネルギー化や廃棄物削減に努めています。この点を高く評価したいと思います。2014年6月には、回生ブレーキおよびVVVFインバータ制御装置を搭載した省エネ車両の導入が評価されて国土交通省関東運輸局長から「交通関係環境保全優良事業者等表彰」を受賞しました。今後も、それをさらに一歩進めて、回生電力貯蔵装置や駅舎補助電源装置の導入を計画している点に、同グループの環境意識の高さを見てとることができます。その他、環境マネジメントの状況も良好です。

すでに、京王グループらしい安全・社会・環境活動は着実に進展していますが、次年度のレポートがさらに充実することに期待します。



この安全・社会・環境報告書の用紙は、環境や地域社会に配慮して管理された森林から生産されたFSC®認証紙を使用しています。  
また、インキに含まれる有害な石油系の溶剤(VOC)の一部を、植物性油で代用したインキを使用しているほか、揮発性有機溶剤を含む湿し水を使用しない、地球環境に配慮した水なし印刷方式で作成されています。



## 京王電鉄株式会社

〒206-8502

東京都多摩市関戸一丁目9番地1

安全・社会・環境報告書に関するお問い合わせ

広報部 企画・環境担当

Tel. 042-337-3106

Fax. 042-337-5536

[www.keio.co.jp](http://www.keio.co.jp)

2014年9月発行